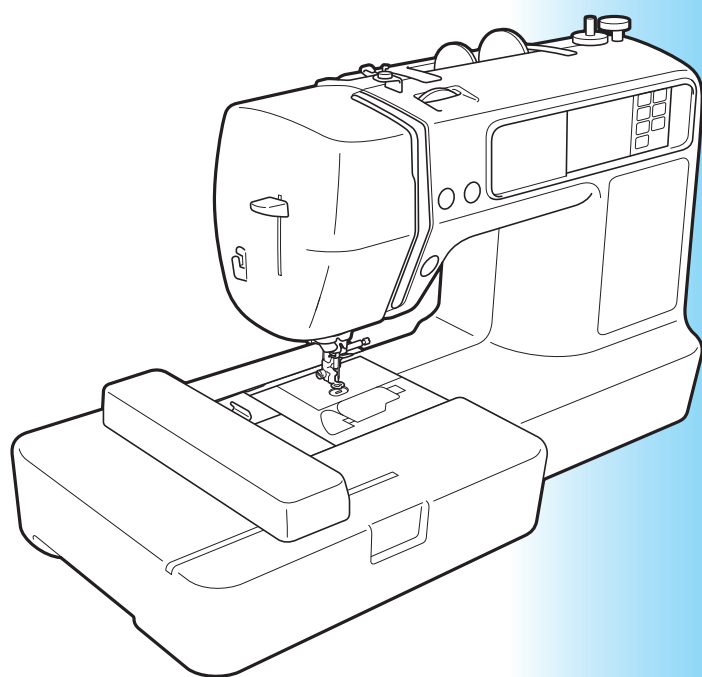


# 取扱説明書

刺しゅう専用ミシン  
PEV57シリーズ



## 1 刺しゅうの準備

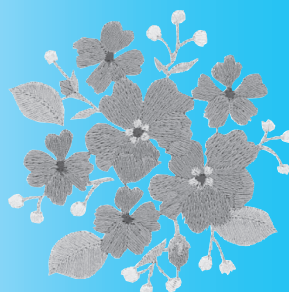
刺しゅうに必要な準備を説明します。

## 2 刺しゅうをする

刺しゅうの手順を説明します。

## 3 付録

ミシンのお手入れと困ったときの  
対処方法などを紹介します。



- ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みにになり、正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。



## はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。  
お使いになる前に、下記「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、この取扱説明書をご覧になり各機能の正しい使い方を十分にご理解の上、未永くご愛用ください。  
また、取扱説明書は読み終わったあともいつでもご覧になれるところに保管してください。

## 安全にお使いいただくために

取扱説明書および本製品で使用されている表示や絵文字は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。  
その表示や意味は次のとおりです。

|                                                                                             |                                                                     |
|---------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
|  <b>警告</b> | ● この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。                |
|  <b>注意</b> | ● この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

取扱説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。



特定しない禁止事項



特定しない危険通告



針の下に指を入れないでください



感電の危険があります



分解してはいけません



火災の危険があります



水に濡らしてはいけません



特定しない義務行為



電源プラグを抜いてください

本製品を安全にお使いいただくために、次のことがらを守ってください。

## 警告



- 必ず一般家庭用電源 AC100V の電源で使用してください。それ以外の電源で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



- 次のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



- ・ ミシンのそばを離れるとき
- ・ ミシンを使用したあと
- ・ 使用中に停電したとき
- ・ 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
- ・ 雷が鳴りはじめたとき



## 注意



- 針の下などに指を入れないでください。けがをするおそれがあります。



- ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。また、針、プーリー、てんびんなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。けがの原因となります。



- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。



- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。



- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。

# 注意



- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。



- 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンなど火の気のあるもののそばや温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は 0 ～ 40 ℃ です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。



- 火の気のあるもののそばでは使用しないでください。(火の消えていないたばこ、ろうそくなど) 火災の原因になります。



- 野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体が濡れて感電の原因となります。また濡れた時はお買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。



- 以下の場所に設置、保管をしないでください。故障の原因になります。
  - ・ 温度が著しく高くなる場所
  - ・ 温度が著しく低くなる場所
  - ・ 急激に温度が変化する場所
  - ・ 湿気、湯気の多い場所
  - ・ 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
  - ・ 屋外や直射日光の当たる場所
  - ・ ほこり、油煙の多い場所



- スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。スプレーへの引火によるやけど・火災の原因となります。



- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてけがをする原因となります。ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。



- ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から 30 cm 以上離してお使いください。また、換気口に糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。



- ミシン本体の上に花瓶や水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

## ！ 注意



- ミシン本体の換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。



- 上糸、下糸などに関する操作については、取扱説明書の指示にしたがって正しく行ってください。取り扱いを誤ると、刺しゅう中に糸がらみなどが発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。



- ミシン本体の重さは約 5.8 kg あります。ミシン本体を持ち運びする際は急激、または不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。



- ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたり、すべって落としたりして、けがの原因となります。



- ミシン本体には取扱説明書に記載されている付属品をご使用ください。他の部品を使うと、けが・故障の原因となります。



- お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電・けがの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご依頼ください。



- 取扱説明書に記載されている整備を行うときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。けが・感電の原因となります。



- リッパーを使う方向に、手や指を置かないでください。すべったときにけがをするおそれがあります。本来の使用目的以外での使用はしないでください。



- 針と押えは、必ず電源を切ってから交換してください。万一、スイッチが押されると、ミシンが作動してけがをするおそれがあります。



- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。



- 万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。



- ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。

## ！ 注意



- お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用になるときは、お子様がけがをしないよう十分ご注意ください。



- 刺しゅう機を取り付けたままミシンを移動させないでください。刺しゅう機が落下してけがをするおそれがあります。

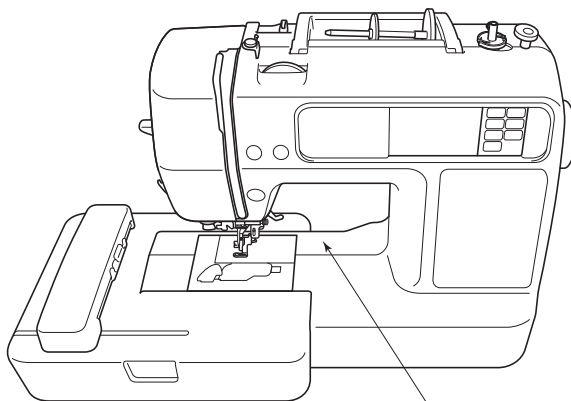


### お願い

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。  
This machine cannot be used in a foreign country as designed for Japan.  
職業用としてご使用になった場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたら「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
- 本機をご使用になる方（お子様を含む）が、身体／知覚／精神的能力になんらかの障害を持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用してください。
- お子様が使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

## 警告ラベルについて

ミシンには下記の警告ラベルが表示されています。  
警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。



ラベルの場所

# もくじ

|                            |           |
|----------------------------|-----------|
| はじめに .....                 | 1         |
| 安全にお使いいただくために .....        | 1         |
| 警告ラベルについて .....            | 5         |
| 製品の特長 .....                | 8         |
| 付属品を確認してください .....         | 9         |
| 付属品 .....                  | 9         |
| 別売品 .....                  | 11        |
| 各部の名前とはたらき .....           | 12        |
| 前面 .....                   | 12        |
| 針・押え部分 .....               | 13        |
| 右側面・背面 .....               | 13        |
| 操作スイッチ .....               | 14        |
| 操作パネル .....                | 15        |
| <b>刺しゅうの準備 .....</b>       | <b>17</b> |
| <b>刺しゅうの手順 .....</b>       | <b>18</b> |
| <b>電源を入れましょう .....</b>     | <b>19</b> |
| 電源に関する注意 .....             | 19        |
| 電源を入れる .....               | 20        |
| 電源を切る .....                | 20        |
| <b>刺しゅう機を取り付ける .....</b>   | <b>21</b> |
| 刺しゅう機を取り付ける .....          | 21        |
| 刺しゅう機を取り外す .....           | 23        |
| <b>液晶画面の操作 .....</b>       | <b>24</b> |
| 液晶画面の見方 .....              | 24        |
| ミシンの設定を確認・変更する .....       | 25        |
| ミシンの使い方を確認する .....         | 27        |
| <b>きれいに刺しゅうをするには .....</b> | <b>28</b> |
| 用意するもの .....               | 28        |
| <b>針を交換する .....</b>        | <b>29</b> |
| 正しい針の見分け方 .....            | 29        |
| 針を交換する .....               | 29        |
| <b>糸をセットしましょう .....</b>    | <b>31</b> |
| 下糸を巻く .....                | 31        |
| 下糸をセットする .....             | 36        |
| 上糸を通す .....                | 38        |
| <b>布地を用意する .....</b>       | <b>43</b> |
| 布地に接着芯を貼る .....            | 43        |
| 布地を刺しゅう枠に張る .....          | 44        |
| <b>刺しゅう枠を取り付ける .....</b>   | <b>47</b> |
| 刺しゅう枠を取り付ける .....          | 47        |
| 刺しゅう枠を取り外す .....           | 48        |
| <b>刺しゅうをする .....</b>       | <b>49</b> |
| <b>刺しゅう模様を選びましょう .....</b> | <b>50</b> |
| 刺しゅう模様の種類 .....            | 50        |
| 液晶画面の操作 .....              | 51        |
| 文字模様を選ぶ .....              | 53        |
| ワンポイント模様を選ぶ .....          | 55        |
| 枠模様を選ぶ .....               | 56        |
| 刺しゅうカードを使う .....           | 57        |
| <b>刺しゅうをしてみましょう .....</b>  | <b>59</b> |
| 刺しゅうする前に模様を確認する .....      | 59        |
| ワンポイント模様を刺しゅうする .....      | 60        |



|                                          |           |
|------------------------------------------|-----------|
| アップリケをする .....                           | 62        |
| <b>こんなとき .....</b>                       | <b>64</b> |
| 模様のレイアウトや大きさを調整する .....                  | 64        |
| 上糸調子を調節する .....                          | 66        |
| 長い文字をつなげてぬう .....                        | 67        |
| 刺しゅうし直したいとき .....                        | 68        |
| 途中で糸がなくなったとき .....                       | 69        |
| 刺しゅうを中断するとき .....                        | 69        |
| <b>模様の記憶機能を使う .....</b>                  | <b>71</b> |
| 刺しゅうデータに関する注意 .....                      | 71        |
| パソコンの模様を呼び出す .....                       | 73        |
| 模様を記憶させる .....                           | 75        |
| 模様を呼び出す .....                            | 76        |
| <b>付録.....</b>                           | <b>77</b> |
| <b>お手入れ .....</b>                        | <b>78</b> |
| 注油に関して .....                             | 78        |
| ミシンを保管するときのご注意 .....                     | 78        |
| 本体表面の掃除 .....                            | 78        |
| かまの掃除 .....                              | 78        |
| <b>刺しゅう押え〈Q〉を取り付ける .....</b>             | <b>80</b> |
| 刺しゅう押え〈Q〉を取り付ける .....                    | 80        |
| <b>困ったとき .....</b>                       | <b>82</b> |
| こんなときには .....                            | 82        |
| 液晶画面のメッセージ表示 .....                       | 86        |
| 液晶画面に何も表示されないとき .....                    | 89        |
| 電子音 .....                                | 89        |
| <b>USB フラッシュメモリーを使っのアップグレードの方法 .....</b> | <b>90</b> |
| <b>本体仕様 .....</b>                        | <b>91</b> |
| <b>さくいん .....</b>                        | <b>92</b> |

## 製品の特長

ワンポイント模様・枠模様・文字を刺しゅうすることができます。

### 🌸 らくらく操作

#### 自動糸切り

ぬい終わりは自動で糸を切ることができます。

**P. 61**

#### 糸通し装置

レバーを下ろすだけで、ワンタッチで簡単に針穴に糸が通ります。 **P. 38**

#### ワンタッチで

下糸巻き準備が完了  
ぬい始めに下糸を引き出す必要がありません。

**P. 36**

### 🌸 楽しく広がる刺しゅうの世界

#### 刺しゅう模様を豊富に内蔵

いろいろな模様を刺しゅうすることができます。

手作りグッズを楽しく演出できます。

**P. 50**

#### USBフラッシュメモリーから模様をダウンロード

USBフラッシュメモリーを直接差し込むだけで、USBフラッシュメモリーに保存された刺しゅうデータ（インターネットの刺しゅうデータダウンロードサイトからダウンロードしたデータ）をミシンに取り込むことができます。

デザインの幅が広がります。

**P. 73**

### 🌸 あんしん操作

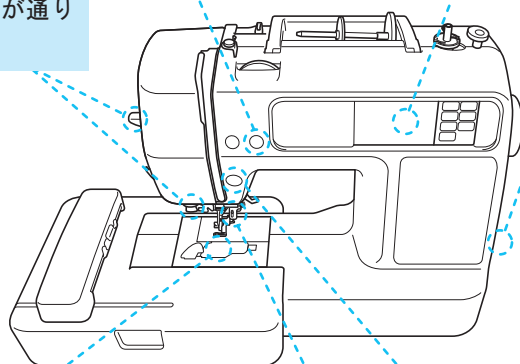
#### スイッチイルミネーション

ミシンの状態をスタートボタンのイルミネーションが教えてくれます。

（緑は刺しゅう中または刺しゅうできる状態、赤は刺しゅうできない状態、オレンジは下糸巻き中を意味しています。） **P. 14**

#### LEDライト

LEDライトが明るく手元を照らします。  
長時間の使用でも熱くなりません。



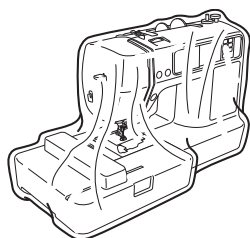
# 付属品を確認してください

箱をあけたら、まず以下の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

## 付属品

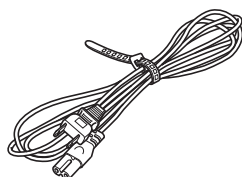
### ■ ミシンカバー

ミシンを使用しないときは、カバーをかぶせて保管してください。



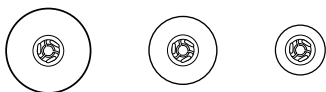
### ■ 電源コード

電源ジャックに差し込みます。



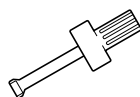
### ■ 糸こま押え

上糸をセットするときに使用します。糸こまの大きさによって大／中／小を使い分けます。購入時、糸こま押え(中)はミシンの糸たて棒にセットされています。



### ■ ドライバー

ミシン針を交換するときなどに使用します。



### ■ ネジ回し

ミシン針を交換するときに、ドライバーと同様に針の止めネジを回すことができます。



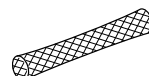
### ■ ミシンブラシ

かまなどの細かい部分のほこりを取り除くときに使用します。



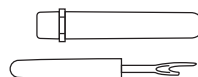
### ■ 糸こまネット

張りが強い糸をセットするときに使用します。



### ■ リッパー

ぬい目をほどこいたりするときに使用します。



### ■ はさみ

糸などを切ります。



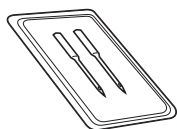
## ■ ボビン

下糸を巻いて使用します。本製品純正のボビンが4個付属されています。そのうちの1個は、購入時にかまにセットされています。残りの3個は、付属品バッグに入っています。



## ■ ミシン針 (HA × 1)

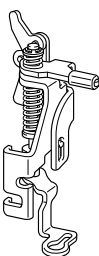
刺しゅうで使用する針 (黄・# 11) が3本付属されています。



黄 #11 (3本)

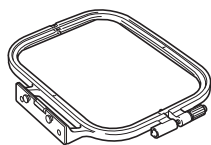
## ■ 刺しゅう押え〈Q〉

購入時は、ミシン本体の押え棒に取り付けられています。



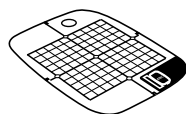
## ■ 刺しゅう枠 [M]

刺しゅうをするときに布地を張ります。  
10cm × 10cm までの刺しゅうができます。



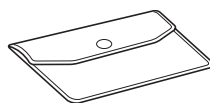
## ■ 刺しゅうシート [M]

刺しゅう枠に、印を付けた布を張るとき、位置を合わせるために使用します。(刺しゅう枠 [M] とセット)



## ■ 付属品バッグ

付属品を収納します。



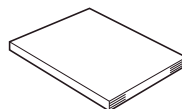
## ■ タッチペン

画面を押して操作するとき 사용합니다。



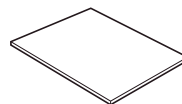
## ■ 取扱説明書

本書です。大切に保管してください。



## ■ 操作早見表

刺しゅうの手順、模様のサンプルが確認できます。



## ■ かんたん操作ガイド

「下糸の準備」、「上糸の通し方」、「刺しゅうの準備」を紹介しています。

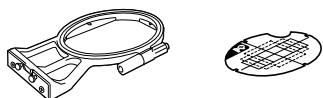


## 別売品

別売品として次の製品を用意しています。お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にお問い合わせください。

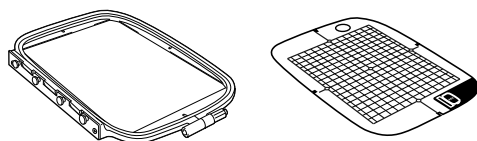
### ■ 刺しゅう枠・刺しゅうシート [S]

縦 2cm × 横 6cm までの模様がぬえます。文字などの小さな刺しゅうをするときに使用します。  
(モデル：EF61)

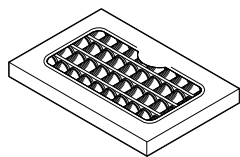


### ■ 刺しゅう枠・刺しゅうシート [L]

縦 17cm × 横 10cm の範囲内に刺しゅう模様がぬえます。布地を張り替えずに複数の模様を刺しゅうするときに使用します。  
(モデル：EF71)



### ■ 刺しゅう糸



ウルトラパス 39 色セット  
(モデル：ETS39)

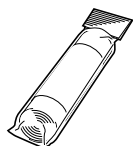
### ■ 刺しゅう用下糸



刺しゅう用下糸 500m 巻き  
(モデル：EBT01)

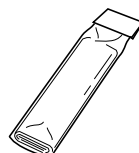
### ■ 刺しゅう用接着芯

刺しゅうする布地の裏にアイロンで貼ります。  
(モデル：BM3)



### ■ 刺しゅう用水溶性シート

薄手の布地やタオルなどの起毛した布地に刺しゅうをするときに使用します。洗濯するとシートが溶けます。(モデル：BM4/BM6)



### ■ 刺しゅうカード

刺しゅう模様が内蔵されているカードです。ミシン本体の刺しゅうカード差し込み口に差し込んで使用します。テーマ別にいろいろなカードがあります。

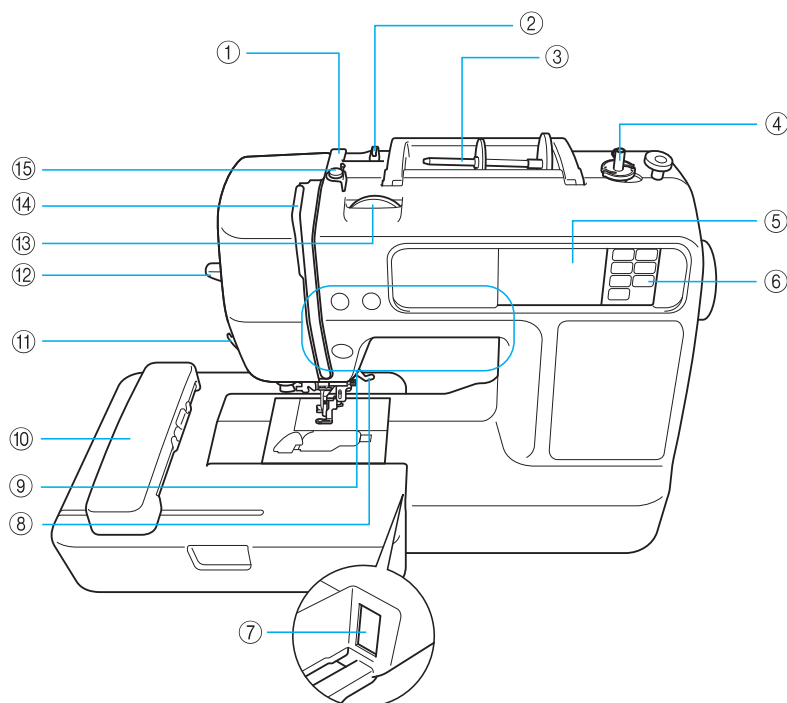
※ 外国で販売されている刺しゅうカードは使用できません。



## 各部の名前とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名前とはたらきを説明します。ミシンを使用する前に、よく読んで名前を覚えておきましょう。

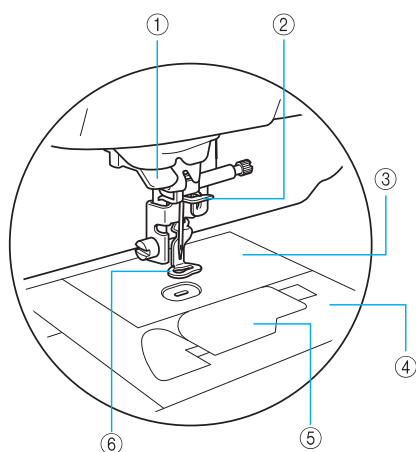
### 前面



- ① 糸案内カバー (→ P.32)  
下糸をボビンに巻くときや、上糸を通すときに糸をかけます。
- ② 上糸案内 (→ P.32)  
下糸をボビンに巻くときや、上糸を通すときに糸をかけます。
- ③ 糸たて棒 (→ P.31)  
糸こまを差し込みます。
- ④ 下糸巻き装置 (→ P.31)  
下糸をボビンに巻くときに使用します。
- ⑤ 液晶画面 (→ P.24)  
選択した模様の設定値やメッセージが表示されます。
- ⑥ 操作パネル (→ P.15)  
模様を選択したり、ミシンの使い方を確認したりします。
- ⑦ 刺しゅう機差し込み口 (→ P.22)  
刺しゅう機のコネクタを差し込みます。

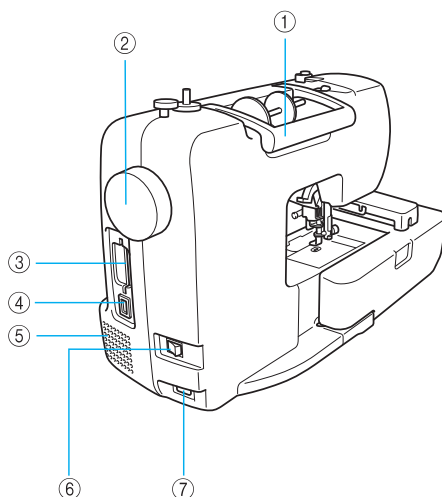
- ⑧ 押えレバー (→ P.30)  
押えを上げ下げします。
- ⑨ 操作スイッチ (→ P.14)  
ミシンの基本的な操作に使用します。
- ⑩ 刺しゅう機  
ミシン本体に取り付けて使用します。
- ⑪ 糸切り (→ P.41)  
糸を引っかけて切ります。
- ⑫ 糸通しレバー (→ P.41)  
針穴に糸を通すときに使用します。
- ⑬ 糸調子ダイヤル (→ P.66)  
糸調子を調節します。
- ⑭ てんびん (→ P.40)
- ⑮ 下糸巻き案内 (→ P.32)  
下糸を巻くときに糸をかけます。

## 針・押え部分



- ① 糸案内皿  
針穴に糸を通すときに糸をかけます。
- ② 針棒糸かけ  
上糸をかけます。
- ③ 針板
- ④ 針板カバー  
かまの掃除をするときに取り外します。
- ⑤ 針板ふた  
下糸をセットするときに開けます。
- ⑥ 刺しゅう押え<Q>  
刺しゅう専用の押えです。

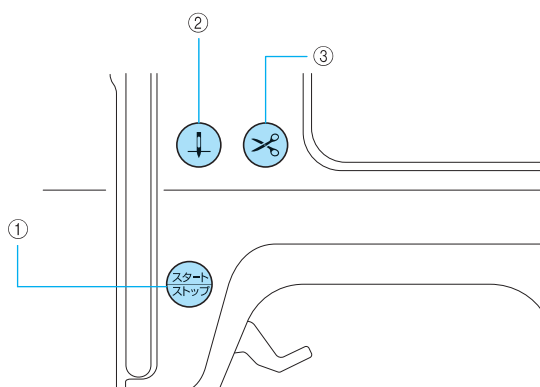
## 右側面・背面



- ① ハンドル  
ミシンの持ち運びに使用します。
- ② プーリー  
ぬい目を 1 針ずつ送ったり、針を上げ下げするときに手前に回します。
- ③ 刺しゅうカード差し込み口  
別売の刺しゅうカードを差し込みます。
- ④ USB ポートコネクタ (USB フラッシュメモリー (USB フラッシュドライブ) 専用)  
USB フラッシュメモリー (USB フラッシュドライブ) に保存された刺しゅう模様データをミシンに取り込むとき、USB フラッシュメモリーをここに差し込みます。
- ⑤ 換気口  
モーターの換気用の穴です。ミシンをご使用になるときは、ここをふさがないようにしてください。
- ⑥ 電源スイッチ  
電源を入れるときと切るときに押します。
- ⑦ 電源ジャック  
電源コードを差し込みます。

## 操作スイッチ

操作スイッチで、ミシンの基本的な操作が簡単に行えます。



### ① スタート/ストップスイッチ (スタート/ストップ)

ミシンをスタートさせるときとストップさせるときに押します。スイッチを押している間はゆっくりとぬえます。購入時は、針が下がった（布地に刺さった）状態でストップするように設定されています。スイッチはミシンの状態によって色が変わります。

|       |                             |
|-------|-----------------------------|
| 緑：    | スタートできる状態のとき／刺しゅう中          |
| 赤：    | スタートできない状態のとき               |
| オレンジ： | 下糸を巻いているとき／下糸巻き軸が右側に入っているとき |

### ② 針上下スイッチ (針上下)

針を上げ下げするときに押します。針に糸を通す前に、必ず針を上げておきます。繰り返し押すと、1針ずつぬうことができます。

### ③ 糸切りスイッチ (糸切り)

ぬい終わりに、上糸と下糸を自動的に切るときに押します。

## ！ 注意



- 糸を切った後に糸切りスイッチを押さないでください。針が折れたり糸がからんだりするおそれがあります。また、故障の原因になります。



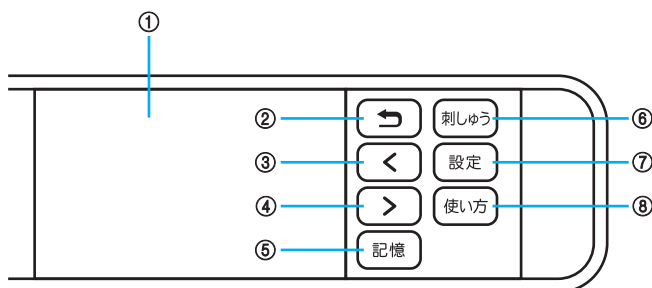
## お知らせ

- 押えの下に布地がセットされていないときや、刺しゅう中は糸切りスイッチを押さないでください。故障の原因になります。
- 特殊な糸を切る場合は、はさみで切ってください。



## 操作パネル

前面の操作パネルで、模様を選択したり設定したりすることができます。



### ① 液晶画面

選択した模様やメッセージが表示されます。  
液晶画面に表示されるキーをタッチペンまたは指で押して操作します。  
詳細は、「液晶画面の操作」(→P.24)で説明します。

### ② 戻るキー

液晶画面の表示を1つ前に戻すときに押します。

### ③ 前ページキー

液晶画面に表示されていない項目があるときに、前の画面を表示します。

### ④ 次ページキー

液晶画面に表示されていない項目があるときに、次の画面を表示します。

### ⑤ 記憶キー

文字の組み合わせや、大きさや位置を調整した模様などをミシンに記憶させるときに押します。

### ⑥ 刺しゅうキー

刺しゅうをするときに押します。

### ⑦ 設定キー

刺しゅう中に液晶画面に表示させる項目やブザー音などの設定を変更するときに押します。

### ⑧ 使い方キー

ミシンの使い方を確認するときに押します。上糸セット・下糸巻き・下糸セット・針交換・刺しゅう機取り付け／取り外し・刺しゅう枠取り付け／取り外しについての簡単な説明が表示されます。



# 1

## 刺しゅうの準備

ここでは、刺しゅうをはじめる前に必要な準備を説明します。

|                    |    |
|--------------------|----|
| 刺しゅうの手順.....       | 18 |
| 電源を入れましょう .....    | 19 |
| 刺しゅう機を取り付ける.....   | 21 |
| 液晶画面の操作.....       | 24 |
| きれいに刺しゅうをするには..... | 28 |
| 針を交換する.....        | 29 |
| 糸をセットしましょう .....   | 31 |
| 布地を用意する .....      | 43 |
| 刺しゅう枠を取り付ける .....  | 47 |

## 刺しゅうの手順

刺しゅうをするときの基本の手順は次のとおりです。

|   |            |                                                                          |
|---|------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 刺しゅう機の取り付け | 刺しゅう機を取り付けます。<br>「刺しゅう機を取り付ける」(→ P.21) で説明します。                           |
| ↓ |            |                                                                          |
| 2 | 針の確認       | 布地に合った針を使用します。<br>「針を交換する」(→ P.29) を参照してください。                            |
| ↓ |            |                                                                          |
| 3 | 下糸のセット     | 刺しゅう用の下糸をボビンに巻いてセットします。<br>「下糸を巻く」(→ P.31)、「下糸をセットする」(→ P.36) を参照してください。 |
| ↓ |            |                                                                          |
| 4 | 布地の用意      | 布地に接着芯を貼り、刺しゅう枠に張ります。<br>「布地を用意する」(→ P.43) で説明します。                       |
| ↓ |            |                                                                          |
| 5 | 刺しゅう枠の取り付け | 刺しゅう機に刺しゅう枠を取り付けます。<br>「刺しゅう枠を取り付ける」(→ P.47) で説明します。                     |
| ↓ |            |                                                                          |
| 6 | 模様の選択      | 刺しゅう模様を選択します。<br>「刺しゅう模様を選びましょう」(→ P.50) で説明します。                         |
| ↓ |            |                                                                          |
| 7 | 上糸のセット     | 模様に合わせて上糸をセットします。<br>「上糸を通す」(→ P.38) を参照してください。                          |
| ↓ |            |                                                                          |
| 8 | レイアウトの確認   | 刺しゅうの大きさや位置を確認して調整します。<br>「模様のレイアウトや大きさを調整する」(→ P.64) で説明します。            |

## 電源を入れましょう

ミシンの電源を入れます。

### 電源に関する注意

電源について気をつけるべきことを説明します。

#### ！ 警告



- 一般家庭用電源 AC100V の電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 次のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
  - ・ ミシンのそばを離れるとき
  - ・ ミシンを使用したあと
  - ・ 使用中に停電したとき
  - ・ 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
  - ・ 雷が鳴りはじめたとき
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

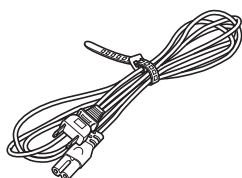
#### ！ 注意



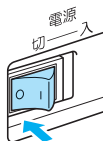
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご連絡ください。
- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。

## 電源を入れる

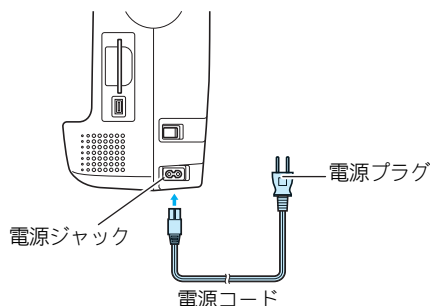
付属の電源コードを用意します。



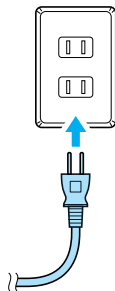
- 1 ミシン本体右側面の電源スイッチの左側（○側）が押されて電源スイッチが「切」になっていることを確認します。



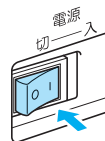
- 2 本体右側面の電源ジャックに電源コードを差し込みます。



- 3 電源プラグを家庭用電源コンセント（AC100V）に差し込みます。



- 4 電源スイッチの右側（I 側）を押して「入」にします。



▶ 電源が入り、ライトと液晶画面、（スタート/ストップスイッチ）が点灯します。

## 電源を切る

ミシンを使い終わったら、電源を切ります。また、ミシンを移動させるときは、必ず電源を切ってください。

- 1 ミシンが動いていないことを確認します。
- 2 ミシン本体右側面の電源スイッチの左側（○側）を押して「切」にします。



▶ 電源が切れ、ライトと液晶画面、（スタート/ストップスイッチ）が消灯します。

- 3 電源プラグをコンセントから抜きます。  
電源プラグを持って抜いてください。
- 4 電源ジャックから電源コードを抜きます。



### お願い

- 使用中に停電が発生したときは、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。次に電源を入れるときは、手順に従って正しく操作してください。

# 刺しゅう機を取り付ける

刺しゅう機を取り付けかたについて説明します。

## ！ 注意

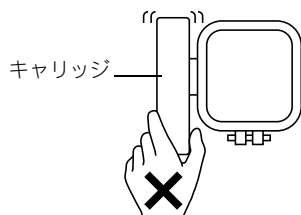


- 刺しゅう機を取り付けたままミシンを移動させないでください。刺しゅう機が落下してけがをするおそれがあります。
- 刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠が動いているときに、手や物を近づけないでください。けがの原因となります。



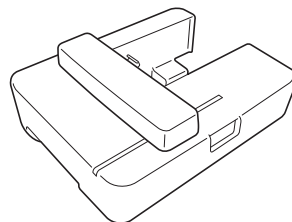
## お願い

- ミシン本体の刺しゅう機差し込み口および刺しゅう機のコネクタに触れないでください。コネクタピンが破損し、故障の原因となります。
- 刺しゅう機のキャリッジを持って、刺しゅう機を持ち上げたり無理に動かしたりしないでください。故障の原因となります。



## 刺しゅう機を取り付ける

刺しゅう機を用意します。



### 1 電源を切ります。

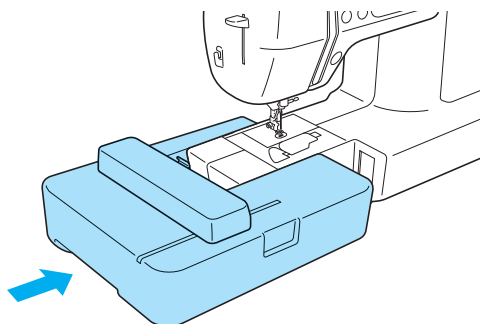


## お願い

- 刺しゅう機は、必ず電源を切ってから取り付けてください。故障の原因となります。

## 2 刺しゅう機を右へスライドさせ、刺しゅう機のコネクタをミシン本体の刺しゅう機差し込み口に差し込みます。

カチッと音がするまで刺しゅう機を押し込みます。



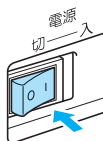
▶ 刺しゅう機が取り付けられます。



### お願い

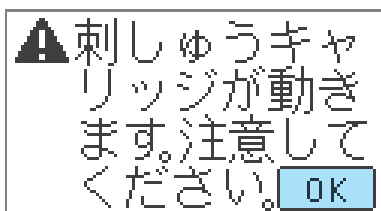
- ミシン本体と刺しゅう機の間にはすきまがあると、模様くずれの原因となります。必ず奥まで確実に差し込んでください。
- 刺しゅう機を取り付けるときは、キャリッジを押さないでください。故障の原因となります。

## 3 電源を入れます。



▶ 液晶画面にメッセージが表示されます。

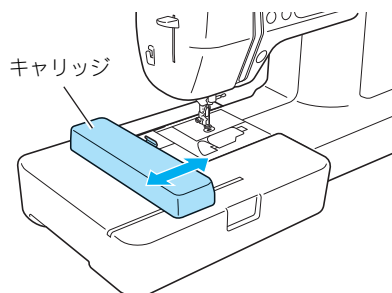
## 4 刺しゅう機の近くに手や物を置いていないことを確認し、**OK**を押します。



### お知らせ

- 液晶画面にアニメーションが表示されているときは、指で液晶画面に触れるとメッセージが表示されます。

▶ 刺しゅう機のキャリッジが初期設定の位置へ移動します。



### 注意



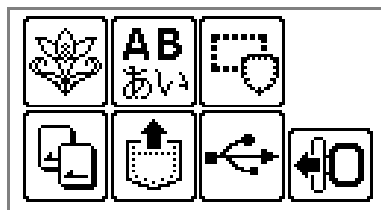
- キャリッジに手や物を近づけないでください。けがの原因となります。



### お願い

- キャリッジの近くに手や物を置いたまま初期設定を行うと、液晶画面が初期表示に戻ることがあります。その場合は、キャリッジの近くにあるものを取り除いてから電源を入れ直してください。

▶ 刺しゅう模様グループの選択画面が表示されます。



### お知らせ

- 刺しゅう模様については、「刺しゅう模様を選びましょう」(→ P.50) で説明します。



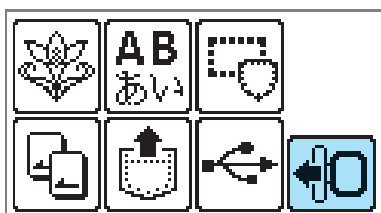
## 刺しゅう機を取り外す

刺しゅう枠を取り外してから、刺しゅう機を取り外します。

- 1 ミシンが動いていないことを確認し、刺しゅう枠を取り外します。

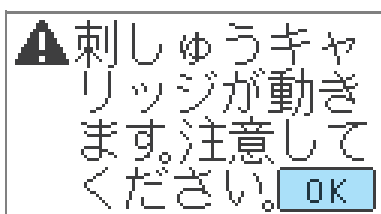
・「刺しゅう枠を取り外す」(→ P.48) で説明します。

- 2  を押します。



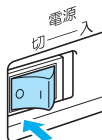
▶ メッセージが表示されます。

- 3 刺しゅう機の近くに手や物を置いていないことを確認し、 を押します。



▶ 刺しゅう機のキャリッジが収納の位置へ移動します。

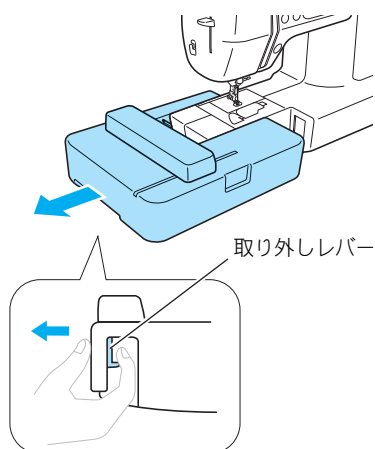
- 4 電源を切ります。



### ！ 注意

- 刺しゅう機は、必ず電源を切ってから取り外してください。故障の原因となります。

- 5 刺しゅう機左側面の裏側にある取り外しレバーをつかみながら、刺しゅう機をゆっくりと左に引きます。



▶ 刺しゅう機がミシン本体から外れます。

### ！ 注意



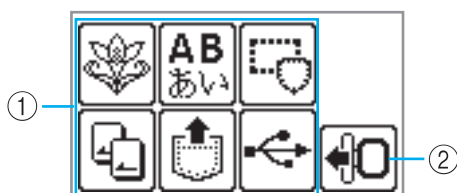
- 刺しゅう機を持ち運ぶときは、キャリッジを持たないでください。故障の原因となります。

## 液晶画面の操作

ミシン本体前面の液晶画面には、選択した模様の設定値やメッセージが表示されます。液晶画面右横の操作キーを押して表示を切り替えて、タッチペンまたは直接指で液晶画面に触れて操作します。操作キーについては、「操作パネル」(→P.15)を参照してください。

## 液晶画面の見方

電源を入れると液晶画面が点灯します。次に液晶画面に表示されるメッセージに従ってタッチペンまたは指で液晶画面に触れると、次の選択画面が表示されます。



### ① 刺しゅう模様の選択

ミシンに内蔵されている刺しゅう模様を選択したり、刺しゅうカードやUSB メモリーから刺しゅう模様を呼び出したりします。詳細は「刺しゅう模様の種類」(→P.50)を参照してください。

### ② 刺しゅう機のキャリッジを収納の位置へ移動させる

刺しゅう機を取り外すときにこのボタンを押します。詳細は、「刺しゅう機を取り外す」(→P.23)を参照してください。



### お知らせ

- 液晶画面に表示されるメッセージについては、「液晶画面のメッセージ表示」(→P.86)を参照してください。
- 機種によっては、電源を入れるとアニメーションが表示されます。アニメーションが表示されているときは、指で液晶画面に触れると上記の画面が表示されます。

## ミシンの設定を確認・変更する

設定画面で、ミシンの設定を確認、変更することができます。各設定値とアイコンの説明は、下の表を参照してください。操作のしかたは次ページで説明します。

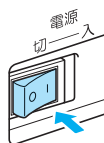
| 項目        | 表示                                                                                | 内容                                                          | 設定                                                                                                                                                                          |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 糸色表示      |  | 刺しゅうの色替の糸色表示を切り替えます。<br>(→ P.51)                            | ブラザー刺しゅう糸番号／カントリー糸番号／ぬい時間／針数／糸色名                                                                                                                                            |
| ブザー       |  | 操作音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。<br>(→ P.89)                           |                                                                                          |
| オープニング画面  |  | 電源を入れたときのオープニング画面を表示するかしないかを設定します。<br>● オープニング画面がない機種もあります。 |                                                                                          |
| 言語        |  | 液晶画面に表示される言語を設定します。                                         | 日本語／ ENGLISH ／<br>PORTUGUES                                                                                                                                                 |
| 画面調整      |  | 液晶画面の明るさを調整します。                                             | 明   暗 |
| プロダクト NO. | -                                                                                 | ミシンのプロダクトナンバーを示します。                                         | -                                                                                                                                                                           |
| バージョン     | -                                                                                 | ミシンにインストールされているプログラムのバージョンを示します。                            | -                                                                                                                                                                           |



### お知らせ

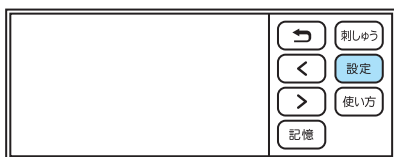
- 上記の反転表示は購入時の初期設定です。
- 刺しゅう中の表示設定については、「液晶画面の操作」(→ P.51)を参照してください。

# 1 電源を入れます。



▶ 液晶画面が点灯します。

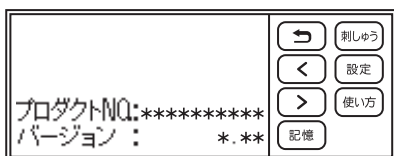
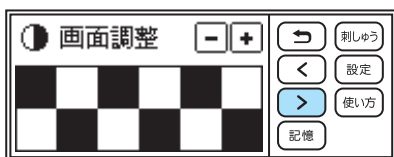
# 2 操作パネルの **設定** (設定キー) を押します。



▶ 設定画面が表示されます。

# 3 設定を確認・変更します。

**<** (前ページキー) **>** (次ページキー)  
で画面を切り替えます。



## [例] 言語を英語に変更する場合



# 4 終わったら、**戻る** (戻るキー) を押します。



▶ もとの画面に戻ります。



## お知らせ

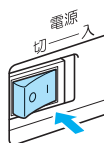
- 「プロダクトNO.」は、ミシン固有の番号です。
- 「バージョン」はミシンにインストールされているプログラムのバージョンです。  
アップグレードについては、お買い上げの販売店または「お客様相談室 (ミシン 119 番)」にお問い合わせいただくか、ブラザーソリューションセンター (<http://support.brother.co.jp/>) で今後掲載される情報を参照してください。
- 変更した設定は、電源を切ってもミシンに記憶されています。

## ミシンの使い方を確認する

次の項目については、簡単な説明を液晶画面に表示させて確認することができます。

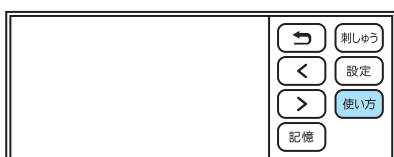
上糸セット・下糸巻き・下糸セット・針交換・刺しゅう機取り付け／取り外し・刺しゅう枠取り付け／取り外し

### 1 電源を入れます。



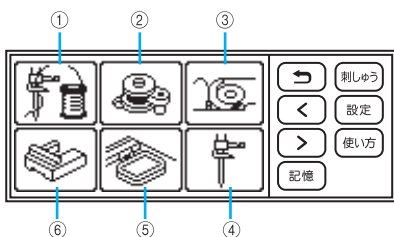
▶ 液晶画面が点灯します。

### 2 操作パネルの「使い方」(使い方キー)を押します。



▶ 項目の選択画面が表示されます。

### 3 説明を表示させる項目のキーを押します。



- ① 上糸セット
- ② 下糸巻き
- ③ 下糸セット
- ④ 針交換
- ⑤ 刺しゅう枠取り付け／取り外し
- ⑥ 刺しゅう機取り付け／取り外し

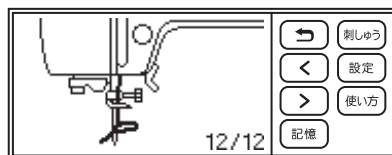
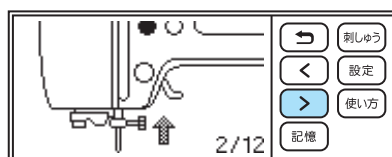
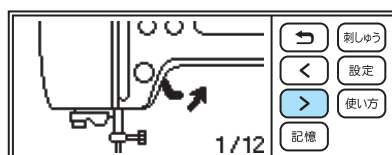
▶ 最初の説明画面が表示されます。

### 4 > (次ページキー) を押して、次の画面に切り替えます。

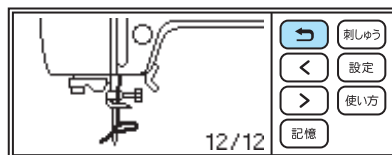
< (前ページキー) を押すと、前の画面に戻ります。

↩ (戻るキー) を押すと、項目の選択画面に戻ります。

[例] 上糸セットを押した場合



### 5 終わったら、↩ (戻るキー) を押します。



▶ もとの画面に戻ります。

## お知らせ

- 各項目についての詳細は、本取扱説明書で説明します。

## きれいに刺しゅうをするには

ここでは、刺しゅうをする前に必要なことを説明します。

### 用意するもの

刺しゅうをするときは、次のものが必要です。

#### ■ 布地

刺しゅうする布地を用意します。刺しゅう模様の大きさに合わせて、刺しゅう枠より少し大きめの布地を用意します。



#### お願い

- 布地には、あらかじめ刺しゅう用接着芯を貼ってください。
- 大きな布地に刺しゅうするときは、ミシンを置いたテーブルから布地が垂れ下がらないようにしてください。布地が垂れ下がった状態で刺しゅうすると、刺しゅう機の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。

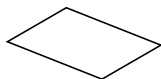
### ！ 注意



- 刺しゅうができる布地の厚さは、布地を張った刺しゅう枠をミシンにセットし、(↓) (針上下スイッチ) を押して針を上げたときに、布地と押えにすきまができるものまでです。それ以上の厚さのものをぬくと、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- 刺しゅうを重ねると、針が布地に刺さりにくくなり、針が折れたり曲がったりするおそれがありますので、ご注意ください。

#### ■ 接着芯

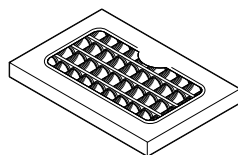
ぬい縮みや模様がくずれることを防ぎ、刺しゅうをきれいに仕上げるために、布地に刺しゅう用接着芯を貼ります。



オーガンジーなどの薄い素材や、タオルなどの起毛している布地には、別売の水で溶ける水溶性シートを使用してください。「別売品」(→P.11) を参照してください。

#### ■ 刺しゅう糸

上糸は、別売の刺しゅう糸 (ウルトラボス)、またはカントリー刺しゅう糸を使用してください。



下糸は、別売の刺しゅう用下糸を使用してください。



#### お知らせ

- 上記以外の糸を使用すると、刺しゅうがきれいに仕上がらないことがあります。
- ぬい始める前に、下糸の残量を確認してください。下糸が少ない状態で刺しゅうを続けると、糸がらみなどが起きる場合があります。

#### ■ 針

家庭用ミシン針 (HA × 1) の 11 番を使用します。デニム地などの厚地に刺しゅうする場合は、家庭用ミシン針 (HA × 1) の 14 番を使用してください。



#### お知らせ

- 購入時は、11 番の針がミシンに取り付けられています。
- 針を交換するときは、「針を交換する」(→P.29) を参照してください。

### ！ 注意



- ブラザーHG針ニット用は、模様ぬいや伸びる布地など、目とびしやすい布地用の針です。刺しゅうぬいには絶対に使用しないでください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

#### ■ その他

別売品として、刺しゅう枠 [S]、[L] も用意しています。詳細は、「別売品」(→P.11) を参照してください。

## 針を交換する

### ！ 注意



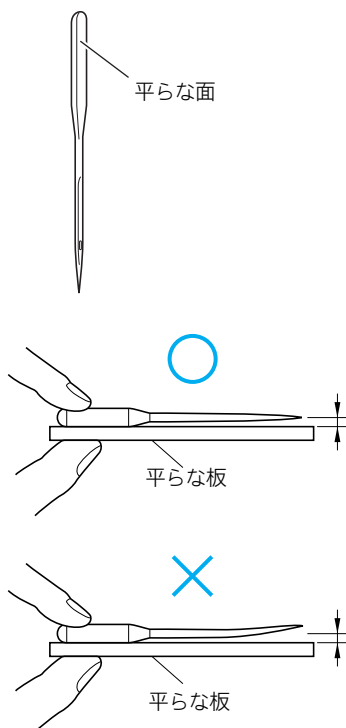
- 針は必ず家庭用ミシン針 (HA × 1) を使用してください。他の針を使用すると、針折れや故障の原因となります。



- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

### 正しい針の見分け方

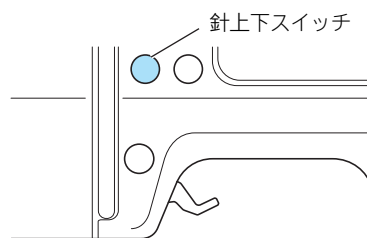
曲がった針は、使用中に折れるおそれがあり大変危険です。使用する前に、針の平らな面を平らな板などに合わせて確認し、すき間が平行にならない針は使用しないでください。



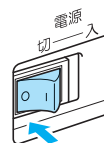
### 針を交換する

「正しい針の見分け方」で確認した正しい針と、付属のドライバーを用意します。

- ① (針上下スイッチ) を 1 回または 2 回押して、針を上げます。



- ② 電源を切ります。



### ！ 注意



- 針の交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチが押されると、ミシンが作動してけがの原因となります。

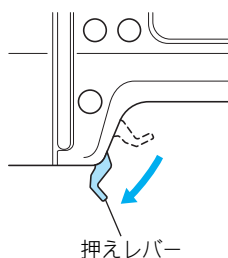
- 3** 押えの下に布または紙を置いて、針板の穴をふさぎます。



**お願い**

- 針を交換する前に、押えの下に布や紙を置いて、針が針板の穴から下へ落ちないようにしてください。

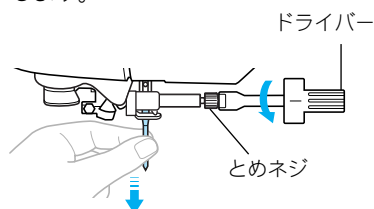
- 4** 押えレバーを下げます。



▶ 押えが下がります。

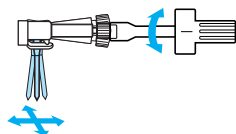
- 5** 針のとめネジをゆるめ、針を抜きます。

左手で針を持ち、右手でドライバーを手前に回します。



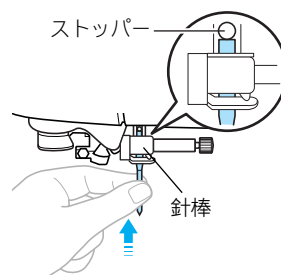
**お願い**

- とめネジをしめたりゆるめたりするときに、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。



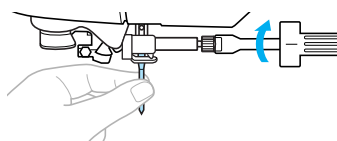
- 6** 新しい針の平らな面が後ろ側になるように、針を針棒に差し込みます。

針が針棒のストッパーに当たるまで差し込みます。



- 7** 針のとめネジをしめます。

左手で針を支え、右手でドライバーを奥に回します。



**！ 注意**



- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、付属のドライバーでとめネジを確実にしめてください。針が正しく取り付けられていないと、針折れや故障の原因となります。

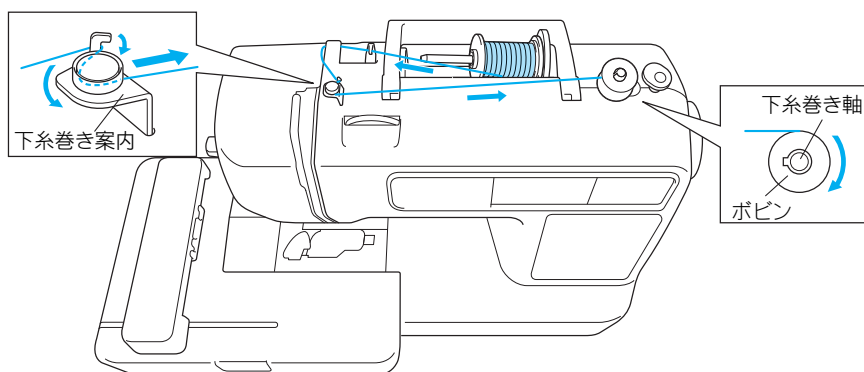


# 糸をセットしましょう

下糸用の糸を巻いたボビンをセットしたあと、上糸用の糸を通します。

## 下糸を巻く

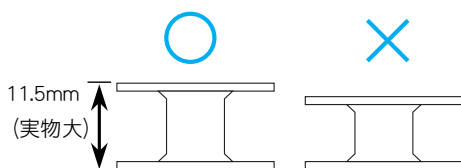
下糸用の糸をボビンに巻きます。糸こまとボビンを用意します。



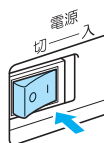
### 注意



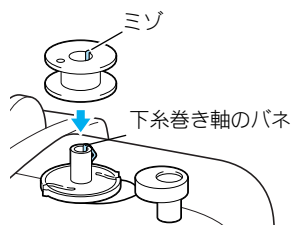
- 付属のボビンは本製品純正のものです。必ず付属品または純正ボビンを使用してください。他のボビンを使用すると、けがや故障の原因となります。



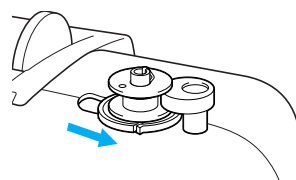
### 1 電源を入れます。



### 2 ボビンのミゾと下糸巻き軸のバネの位置を合わせて、ボビンを下糸巻き軸に差し込みます。

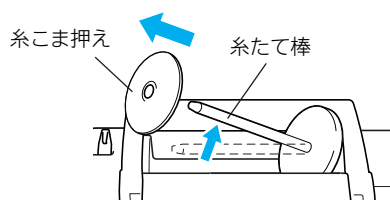


### 3 ボビンを右側へカチッと音がするまで押します。



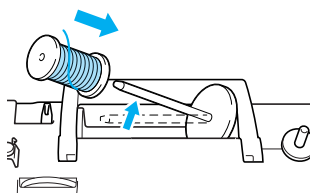
▶ (スタート/ストップスイッチ) がオレンジに点灯します。

### 4 糸たて棒をを起こし、糸たて棒から糸こま押えを抜きます。



## 5 下糸用の糸こまを糸たて棒にいっぱいまで差し込みます。

糸こまを横にして、下側から手前に糸が出る向きで差し込みます。

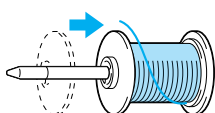


### お知らせ

- 別売の刺しゅう用下糸を使用してください。

## 6 糸こま押えを糸たて棒に差し込み、糸たて棒をもとの位置に戻します。

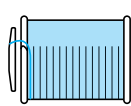
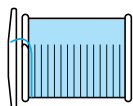
糸こま押えの丸みをおびている面を外側にし、糸こまが糸たて棒の一番奥まで入るようにしっかりと差し込みます。



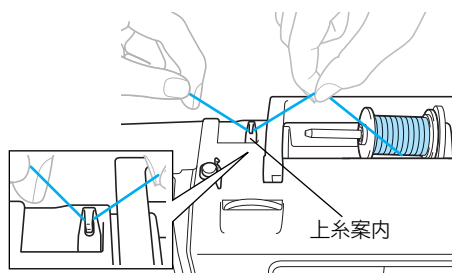
## ⚠ 注意



- 糸こまや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、糸切れや故障の原因となります。
- 糸こま押えは糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまの直径より小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、故障の原因となります。

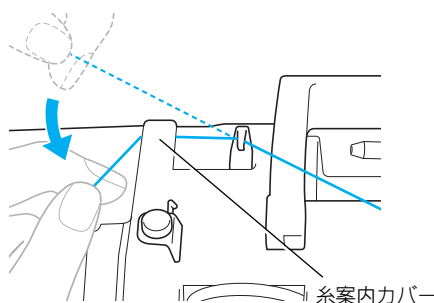


## 7 糸こまから糸を引き出し、上糸案内のツメ部分に糸をかけます。

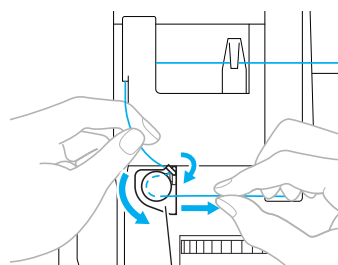


## 8 糸を糸案内カバーの奥から手前へかけます。

引き出した糸がたるまないように右手で糸を持ち、左手で糸案内カバーにかけます。



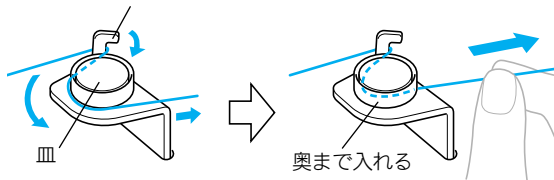
## 9 糸を引いて下糸巻き案内の凸部に糸を引っ掛け、皿の間に左回りに糸をかけてしっかりと奥まで入れます。



下糸巻き案内

糸が皿の下に確実に通っていることを確認してください。

凸部

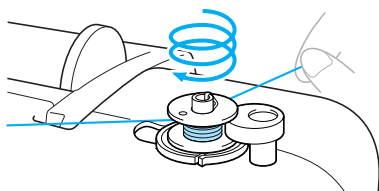


奥まで入れる

## 10 糸を時計まわりに5～6回ボビンに巻きつけます。

引き出した糸がたるまないように左手で持ち、右手で糸端をボビンに巻きつけます。

5～6回巻きつける

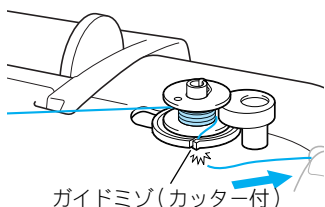


## ! 注意



- 糸は、必ずピンと張った状態で時計回りに巻いてください。逆方向へ巻くと、下糸巻き軸に糸が巻きつくことがあります。

## 11 糸の端をボビン受け座のガイドミゾに引っかけて右へ引き、カッターで糸を切ります。



ガイドミゾ(カッター付)



## お知らせ

- カッターで糸を切ると糸の端がガイドミゾに固定されるため、下糸をきれいに巻くことができます。

## ! 注意



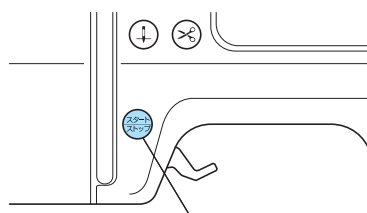
- 必ずガイドミゾのカッターで糸を切ってください。正しく糸を切らずに下糸を巻くと、糸量が少なくなったときにボビンに糸がからまり、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。



## お願い

- 下糸巻きを開始する前に、下糸が正しくセットされていることを確認してください。正しくセットされていないと、糸がからまり、きれいに巻くことができません。

## 12 (スタート/ストップスイッチ) を1回押します。



スタート/ストップスイッチ

- ▶ ボビンが回転して下糸巻きがスタートし、液晶画面に「下糸巻き中」と表示されます。



## お願い

- 下糸巻き中は、ミシンのそばを離れないでください。下糸がボビンに正しく巻かれていることを確認し、正しく巻かれていないときは、ただちに(スタート/ストップスイッチ)を押して、下糸巻きをストップしてください。



## お知らせ

- (スタート/ストップスイッチ)を押しても下糸巻きがスタートしないときは、液晶画面にアニメーションが表示されています。指で液晶画面に触れてから、もう1回(スタート/ストップスイッチ)を押してください。

## 13 ボビンの回転が止まるか、回転のスピードがゆっくりになったら、(スタート/ストップスイッチ)を1回押します。

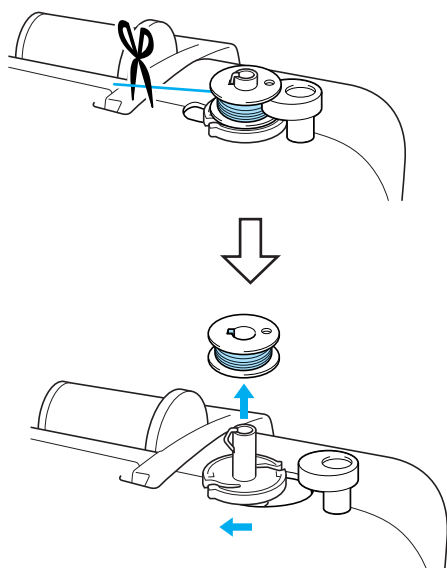
- ▶ 下糸巻きがストップします。

## ! 注意



- ボビンの回転が止まるか、回転のスピードがゆっくりになったら、必ず下糸巻きをストップさせてください。無理に続けると故障の原因となります。

- 14** はさみで糸を切り、軸を左へ戻し、ボビンを軸から外します。



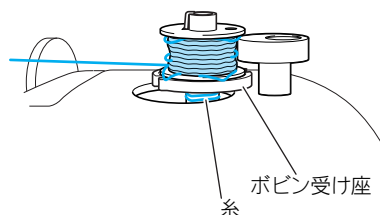
### お知らせ

- 下糸巻き軸が右側に押されたままだと、針が動きません（刺しゅうできません）。
- 下糸を巻いたあとにミシンをスタートさせたりプーリーを回したりすると、ガチャッという音がすることがありますが、故障ではありません。

### ■ ボビン受け座の下に糸がからまってしまったら

糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていない状態で下糸を巻くと、ボビン受け座の下に糸が巻かれてしまうことがあります。（→ P.32）

そうなった場合は、以下の手順に従ってボビン受け座の下に巻かれた糸をほどいてください。

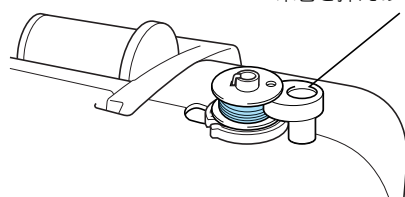


### ！ 注意

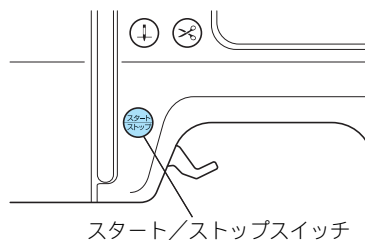


- ボビン受け座の下に糸が巻かれても、ボビン受け座は外さないでください。受け座のカッターでけがをするおそれがあります。
- 糸巻き押えのネジは外さないでください。ミシン故障の原因となります。ネジを外しても、からまった糸をほどくことはできません。

糸巻き押えのネジ

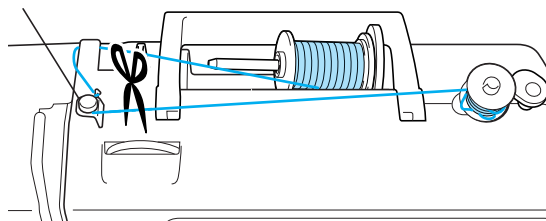


- ①** ボビン受け座の下に下糸がからまり始めたら、（スタート／ストップスイッチ）を押して、下糸巻きをストップします。

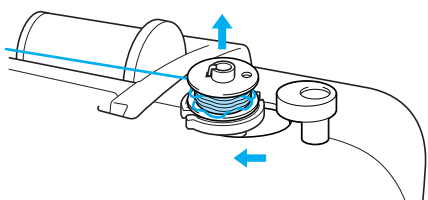


- ② 下糸巻き案内側で、はさみで糸を切ります。

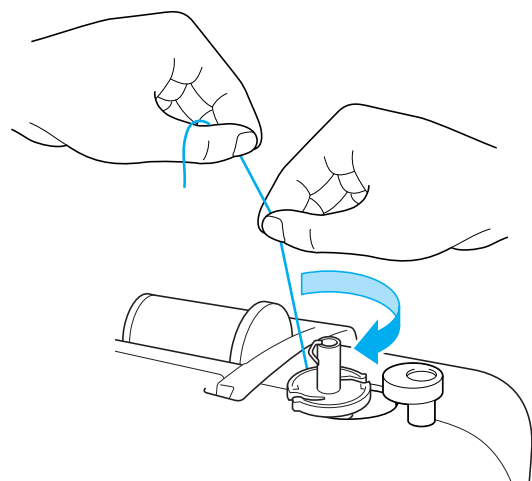
下糸巻き案内



- ③ 下糸巻き軸を左へ戻し、ボビンを軸から外します。



- ④ 図のように左手で糸端を持ち、右手でボビン近くの糸をゆっくりと時計回りに回して、からまった糸をほどきます。



- ⑤ 下糸巻きをやり直します。



### お願い

- 糸が下糸巻き案内の皿の下に確実に通っていることを確認してください。(→P.32)

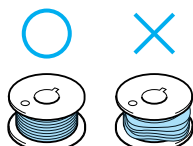
## 下糸をセットする

下糸を巻いたボビンをかまにセットします。

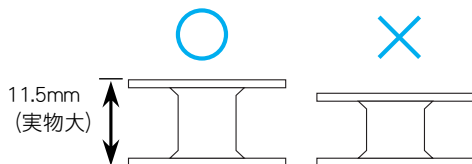
### ！ 注意



- 必ず正しく巻かれた下糸を使用してください。巻き方が悪い下糸を使用すると、針折れや糸調子不良の原因となります。



- 付属のボビンは本製品純正のもので、必ず付属品または純正ボビンを使用してください。

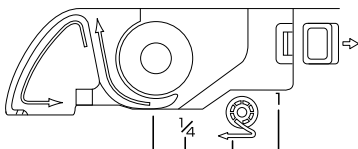


**下糸をセットするときや交換するとき**  
**は、必ず電源スイッチを切ってから行っ**  
**てください。**万一、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチが押されると、ミシンが作動してけがの原因となります。

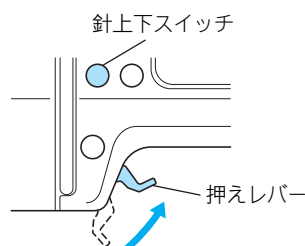


### お知らせ

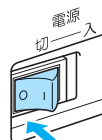
- ボビンをセットするときの糸の通し方は、針板力バーにも表示されています。



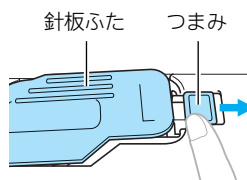
- ① (針上下スイッチ)を1回または2回押して針を上へ上げ、押えレバーを上げます。



- ② 電源を切ります。



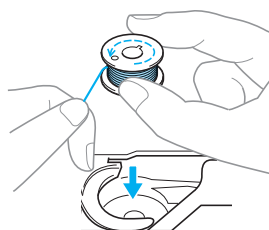
- ③ 針板ふたの横のつまみを右側へスライドさせます。



▶ 針板ふたが開きます。

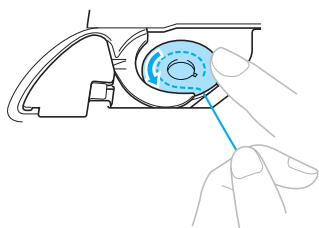
- ④ 針板ふたを取り外します。

- ⑤ 糸が左巻きになるように右手でボビンを持ち、左手で糸端を持ちます。



・ ボビンを落とさないよう、注意してください。

## 6 右手でボビンをかまに入れます。



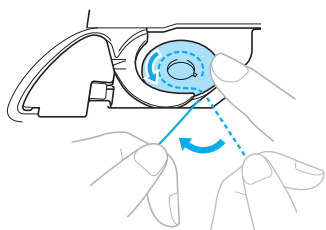
・ ボビンを正しくセットしてください。

## ! 注意

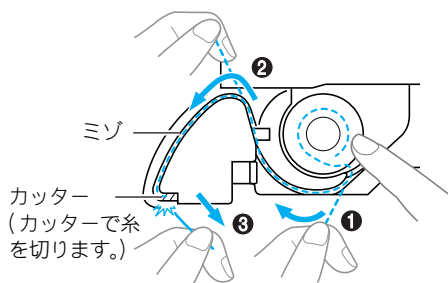


- ボビンをセットするときは、必ず指で押さえてください。ボビンが正しくセットされていないと、糸調子不良の原因となります。
- ボビンは、必ず正しい方向から糸が出るようにセットしてください。万一、逆の方向にセットすると、針折れや糸調子不良の原因となります。

## 7 右手でボビンを軽く押さえ、左手で糸を引きます。

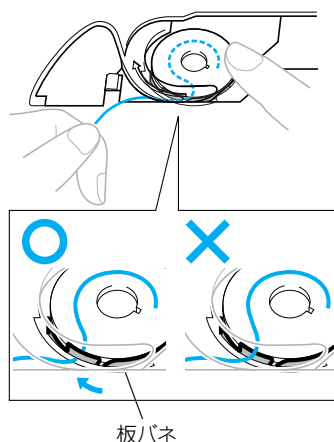


## 8 図のように、右手でボビンを軽く押さえながら、ミゾにそって糸を通します。このとき、ボビンが左回りに軽く回ることを確認してください。そのあと、手前に引きカッターで糸を切ります。



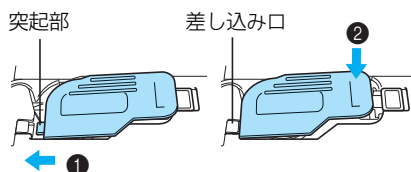
## お願い

- 内かまの板バネの間に確実に糸が入っていないと、糸調子不良の原因となります。



## 9 針板ふたをもとに戻します。

針板ふたの突起部を針板カバーの差し込み口に差し込んでから、針板ふたの右側を上から押し付けます。

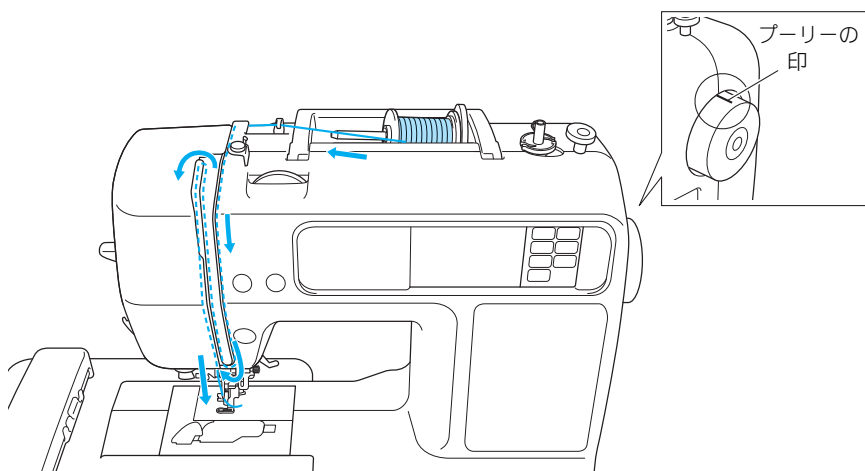


▶ 下糸のセットが完了します。下糸を引き出さず、このままぬい始めることができます。

- ・ 次に上糸をセットします。  
「上糸を通す」(→ P.38) を参照してください。

## 上糸を通す

上糸用の糸こまをセットし、針に糸を通します。

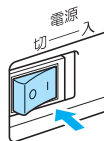


### ！ 注意

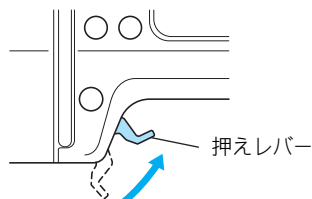


- 上糸は、手順に従って正しく通してください。上糸を正しく通していない場合、糸がからんで針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- 糸通し装置は、11～14番の家庭用ミシン針(HA×1)を使うときに使用できます。また、メタリック糸などの特殊な糸を使用する場合、糸通し装置は使用できません。
- 糸通し装置が使用できない場合は、以降の「手で針に糸を通すとき」(→P.42)を参照してください。

### 1 電源を入れます。



### 2 押えレバーを上げます。



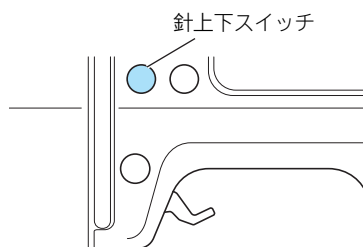
▶ 押えが上がります。



### お知らせ

- 押えが下がった状態で上糸を通すことはできません。

### 3 ④ (針上下スイッチ)を1回または2回押して、針を上げます。

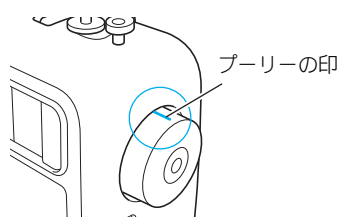




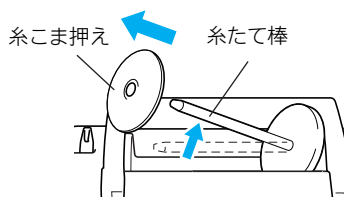


## お願い

- 針が確実に上がっているときは、プーリーの印が下図のように上になります。必ず、プーリーの印が上にきていることを確認してください。印がこの位置にきていないときは、針上下スイッチで針を上を上げてから、以降の操作をしてください。

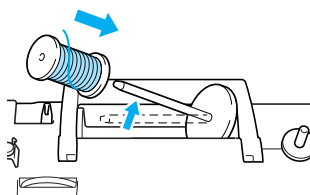


- 糸たて棒を起し、糸たて棒から糸こま押えを抜きます。



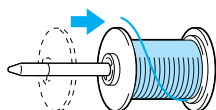
- 上糸用の糸こまを糸たて棒に差し込みます。

糸こまを横にして、下側から手前に糸が出る向きで差し込みます。



- 糸こま押えを糸たて棒に差し込み、糸たて棒をもとの位置に戻します。

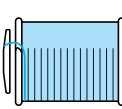
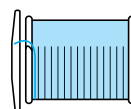
糸こま押えの丸みをおびている面を外側にし、糸こまが糸たて棒の一番奥まで入るようにしっかりと差し込みます。



## 注意

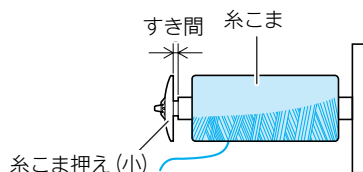


- 糸こまや糸こま押えが正しくセットされていないと、糸たて棒に糸がからまり、糸切れや故障の原因となります。
- 糸こま押えは糸こまの大きさに合わせて使用してください。糸こまの直径より小さい糸こま押えを使用すると、糸こまの切り欠きなどに糸が引っかかり、故障の原因となります。

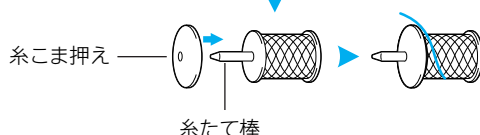
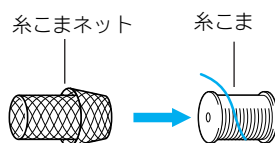


## お願い

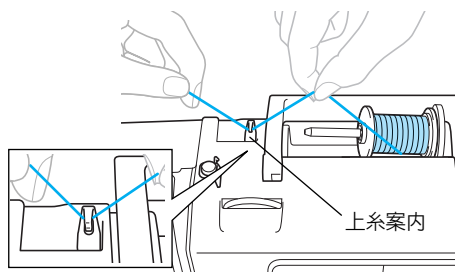
- 下記図のような糸こまを使うときは、糸こま押え(小)を使用してください。糸こまと糸こま押えの間にはすき間を入れてください。



- メタリック糸などの張りが強い糸を使用する場合は、付属の糸こまネットを糸こまに付けてから糸たて棒にセットしてください。ネットが長い場合は、糸こまの大きさに合わせて折って使用します。糸こまネットを使用すると、上糸の調子が強くなることがあります。ぬい始める前に、「上糸調子を調節する」(→ P.66)を参照してください。

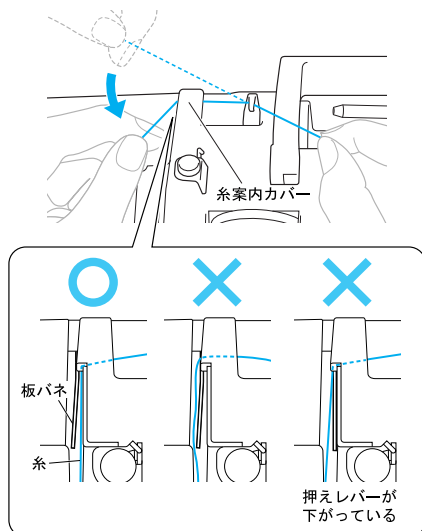


- 7** 糸こまから糸を引き出し、上糸案内のツメ部分に糸をかけます。



- 8** 糸を糸案内カバーの奥から手前へかけます。

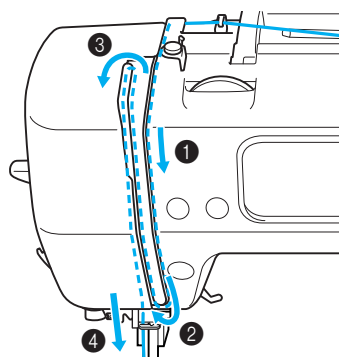
引き出した糸がたるまないように右手で糸を持ち、左手で糸案内カバーにかけます。



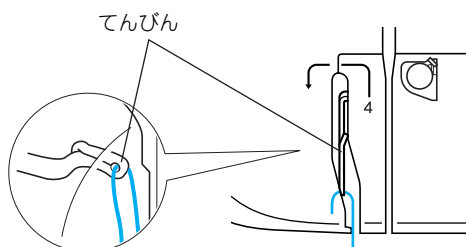
### お願い

- 糸がたるまないよう、必ず右手で糸を持ち、左手で糸案内カバーに糸をかけてください。板バネに正しく糸がかからず、糸調子不良の原因となります。
- 糸案内カバーに糸をかける前に、押えレバーが上まっていることを確認してください。押えレバーを下げると板バネが閉じ、正しく糸をかけることができません。

- 9** 矢印のように、ミゾに沿って番号順に糸を通します。



- 10** 図のようにてんびんに糸がかかっていることを確認します。

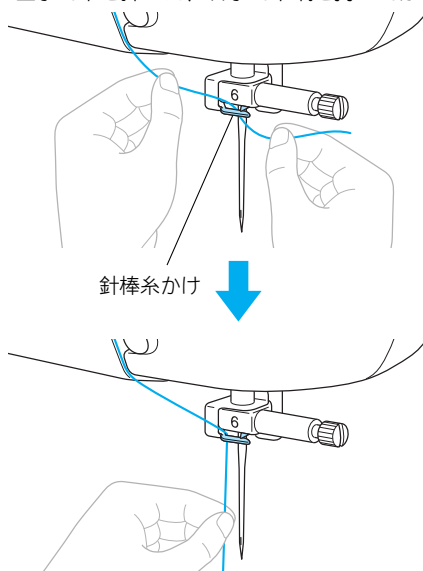


### お知らせ

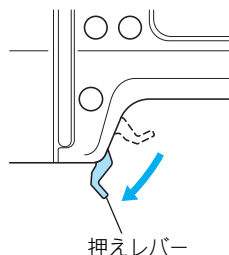
- 針が下がっているときは、てんびんに糸をかけることはできません。上糸を通す前に、⓪ (針上下スイッチ) で針を上げておいてください。

- 11** 針棒糸かけに糸をかけます。

左手で糸を押さえ、右手で糸端を持ってかけます。

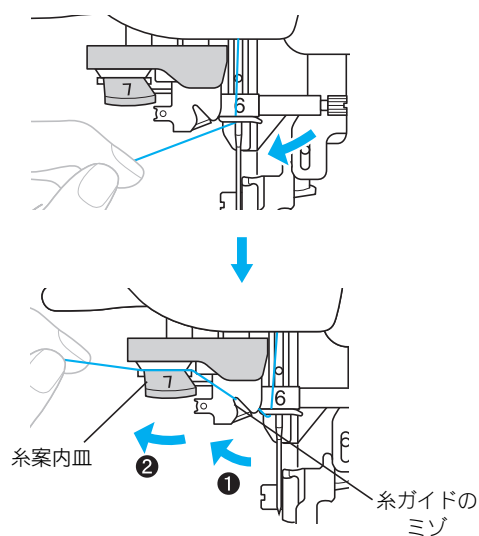


## 12 押えレバーを下げます。



▶ 押えが下がります。

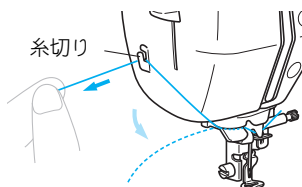
## 13 針棒糸かけにかけた糸を左へ引き、糸ガイドのミゾに糸をかけます(①)。糸案内皿<7>のすき間に手前から糸をしっかりと奥まで入れます(②)。



### お願い

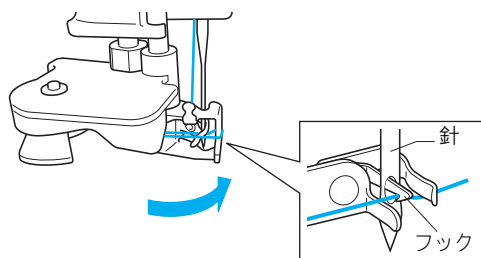
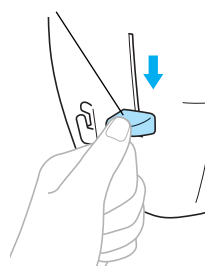
- 糸が糸ガイドのミゾに確実に通っていることを確認してください。

## 14 ミシン本体左側面の糸切りに糸を引っかけて切ります。



## 15 ミシン本体左側面の糸通しレバーをいっぱいまで下げます。

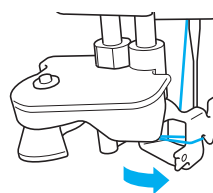
糸通しレバー



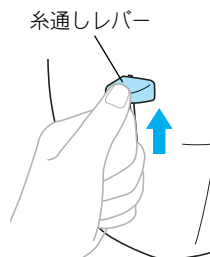
▶ フックが回転します。

### お願い

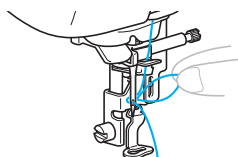
- 針が上がっていないと、糸通し装置で糸を通すことができません。糸を通す前に、針を④(針上下スイッチ)で上げておいてください。詳細は、「上糸を通す」③(→P.38)を参照してください。
- 糸通しレバーをいっぱいまで下げないと、フックが完全に回転しないため、糸が針穴に通りません。糸通しレバーを下げたとき、フックが図の位置までしか回転せず、糸が通らなかった場合は押えレバーを上げ、⑧からやり直してください。このとき、針が上がっていることを確認してください。



## 16 糸通しレバーをゆっくりと上へ戻します。



## 17 押えレバーを上げ、針穴に通った糸の、輪になった部分を持ってゆっくりと後ろに引き出します。



### ！ 注意

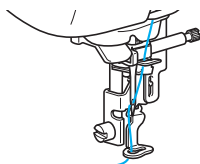


- 操作スイッチには触れないでください。操作スイッチに手が接触すると、ミシンが動き、針が折れたり、針で指をさすおそれがあります。



- 無理に引っ張って針を曲げないように注意してください。

## 18 糸端を押えの穴に通します。



▶ 上糸通しが完了します。

### ！ 注意



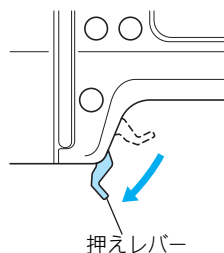
- 糸通しが正常に行われなかった場合は、手順 13 からもう一度やり直してください。

## ■ 手で針に糸を通すとき

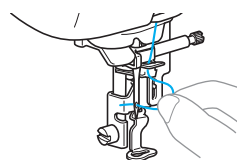
糸通し装置が使用できないメタリック糸などの特殊な糸を使用するときは、次の手順で針に糸を通します。

### ① 「上糸を通す」(→P.38)の①～④に従って、針棒糸かけまで上糸を通します。

### ② 押えレバーを下げます。



### ③ 手で糸を持ち、手前から後ろに向かって針穴に糸を通します。



### ！ 注意



- 操作スイッチには触れないでください。操作スイッチに手が接触すると、ミシンが動き、針が折れたり、針で指をさすおそれがあります。

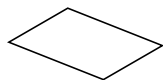
### ④ 押えレバーを上げ、糸端を押えの穴に通します。

## 布地を用意する

刺しゅうする布地に接着芯を貼ってから、刺しゅう枠に張ります。

### 布地に接着芯を貼る

ぬい縮みや模様くずれを防ぎ、刺しゅうをきれいに仕上げるために、布地に刺しゅう用接着芯を貼ります。



#### お知らせ

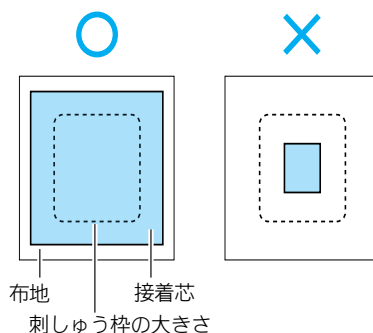
- オーガンジーなどの薄い素材や、タオルなどの起毛している布地には、別売の水で溶ける水溶性シートを使用してください。「別売品」(→P.11)を参照してください。

### ！ 注意

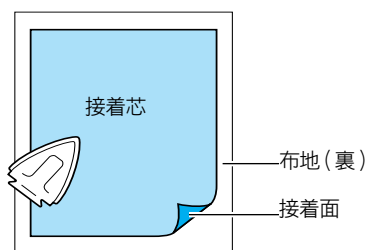


- 必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。特に、薄地や伸びる布地に接着芯を使用せずに刺しゅうをすると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。また模様くずれの原因となります。

- 1 使用する刺しゅう枠より大きめに刺しゅう用接着芯を用意します。



- 2 布地の裏に接着芯の接着面をあて、スチームアイロンをかけて貼ります。



#### お知らせ

- タオルなどのアイロンがかけられない布地や、アイロンがかけられないところに刺しゅうをするときは、布地の下に接着芯を置いて、接着せずに刺しゅう枠に張ります。



#### お願い

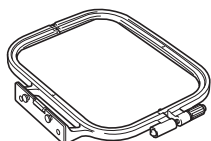
- 刺しゅうが完成したら、接着芯はやぶって取り除いてください。

## 布地を刺しゅう枠に張る

接着芯を貼った布地と刺しゅう枠を用意し、布地を刺しゅう枠に張ります。

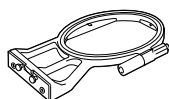
### ■ 刺しゅう枠 [M]

縦 10cm × 横 10cm までの模様を刺しゅうできます。



### ■ 刺しゅう枠 [S] (別売品)

縦 2cm × 横 6cm までの模様を刺しゅうできます。文字などの小さな刺しゅうをするときに使用します。

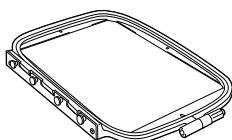


### お知らせ

- 模様によっては、刺しゅう枠 [S] が使用できないことがあります。

### ■ 刺しゅう枠 [L] (別売品)

縦 17cm × 横 10cm の範囲内に模様を刺しゅうできます。布地を張り替えずに複数の模様を刺しゅうするときに使用します。

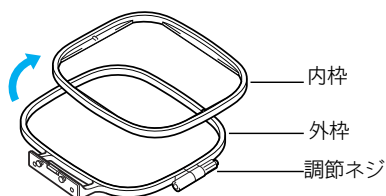


## ⚠ 注意



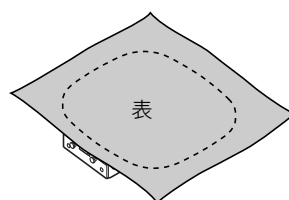
- 刺しゅう枠は、刺しゅうする模様の大さに合わせて使用してください。誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、けがや針折れの原因となります。

- 1 刺しゅう枠の調節ネジをゆるめて内枠を外枠から取り外し、平らなところに置きます。



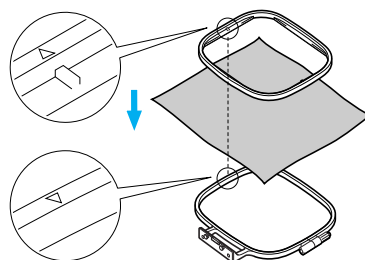
- 2 接着芯を貼った布地を外枠の上に置きます。

布地の表が上になるように置きます。

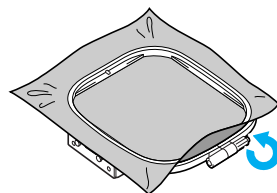


- 3 布地の上から内枠をはめます。

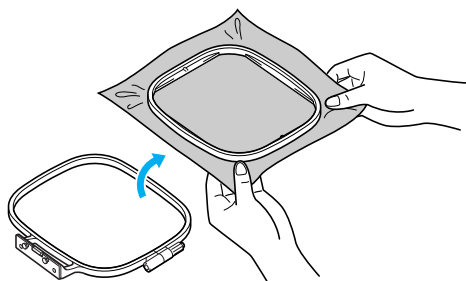
- ・ 内枠の△と外枠の▽の印を合わせます。



- 4 調節ネジを軽くしめ、布地を固定します。



- 5 調節ネジをゆるめずに、布地を外枠から  
ていねいに外します。

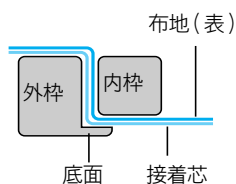
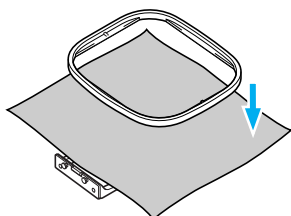


### お知らせ

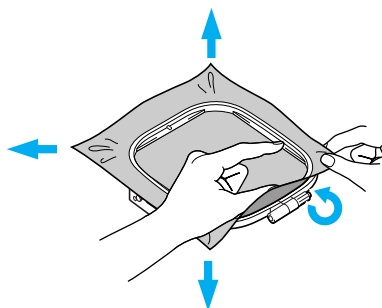
- これにより、刺しゅう中の模様くずれが起こりにくくなります。

- 6 内枠の△と外枠の▽の印を合わせながら、布地の上からもう一度内枠をしっかりと  
はめ込みます。

外枠の底面まで内枠をしっかりとめ込みます。



- 7 布地の四方を引っ張ってたるみをなく  
し、調節ネジをしめます。



### お知らせ

- 布地を軽くたたくと、太鼓のような音がするくらいが目安です。

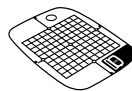


### お願い

- 布地がたるんでいると、模様くずれやぬい縮みの原因となります。必ずたるみのないように刺しゅう枠に張ってください。

### ■ 刺しゅうシートを使う

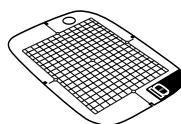
刺しゅうシートを使用すると、布地の正確な位置に刺しゅうすることができます。



刺しゅうシート [M]  
(付属)

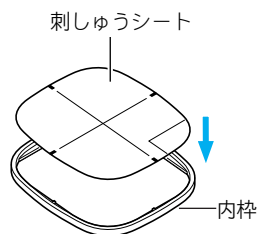


刺しゅうシート [S]  
(別売品)

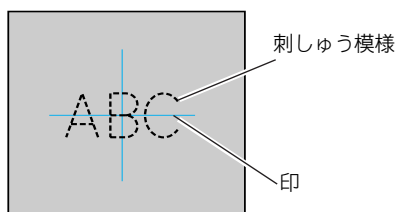


刺しゅうシート [L]  
(別売品)

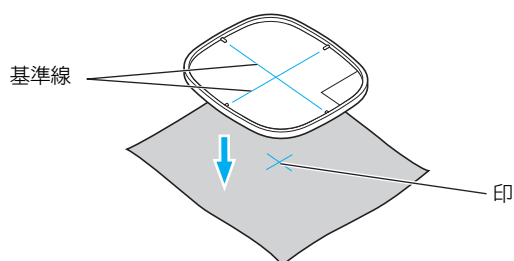
① 内枠の上に刺しゅうシートをのせます。



② 布地の刺しゅうをしたい位置に、チャコペンで印を付けます。



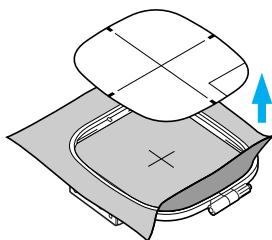
③ 布地の印と刺しゅうシートの基準線を合わせます。



④ 外枠の上に布地と内枠を置き、布地を張ります。

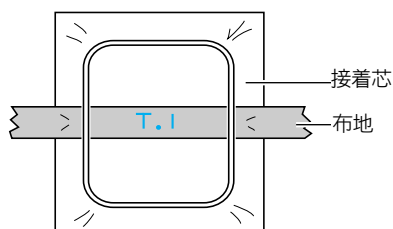
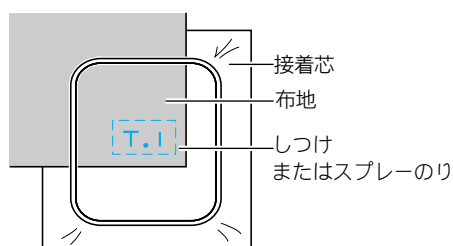
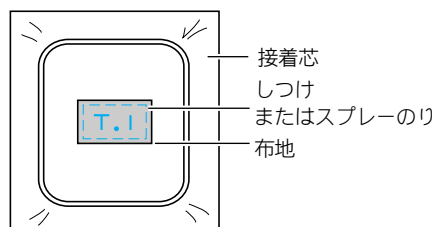
・ 布地の張り方については、「布地を刺しゅう枠に張る」(→P.44)を参照してください。

⑤ 刺しゅうシートを取り外します。



■ 刺しゅう枠に張れない布地に刺しゅうをするとき

刺しゅう枠に張ることができない小さい布地や、テープのような細い布地に刺しゅうをする場合は、接着芯を土台にして刺しゅう枠に張ります。



刺しゅうが終わったら、接着芯をていねいに取り除きます。



# 刺しゅう枠を取り付ける

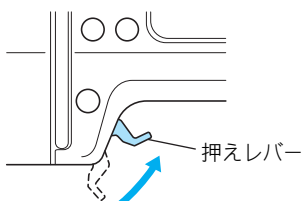
布地を張った刺しゅう枠を刺しゅう機に取り付けます。

## 刺しゅう枠を取り付ける

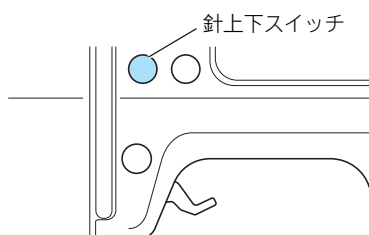
- 1 別売の刺しゅう用下糸をボビンに巻いて、かまにセットします。

・「糸をセットしましょう」(→P.31)を参照してください。

- 2 押えレバーを上げます。

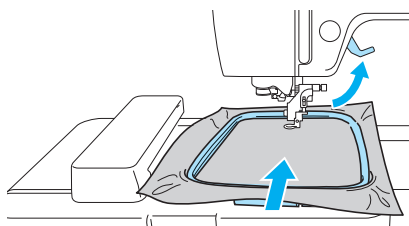


- 3 ⬇ (針上下スイッチ)を1回または2回押して、針を上げます。



- 4 押えレバーをさらに上げて、押えの下に刺しゅう枠を通します。

このとき、押えレバーは固定されません。



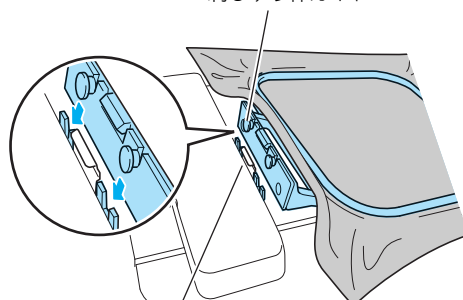
## 注意

- 操作スイッチには触れないでください。操作スイッチに手が接触すると、ミシンが動き、針が折れたり、針で指をさすおそれがあります。

- 5 キャリッジの刺しゅう枠ホルダーに、刺しゅう枠ガイドを上からはめます。

刺しゅう枠ホルダーのミゾと刺しゅう枠ガイドのツメが合うようにし、カチッと止まるまで差し込みます。

刺しゅう枠ガイド



刺しゅう枠ホルダー

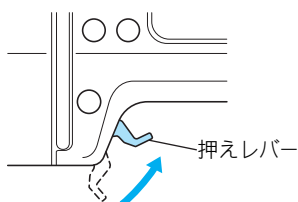
▶ 刺しゅう枠が取り付けられます。

## 注意

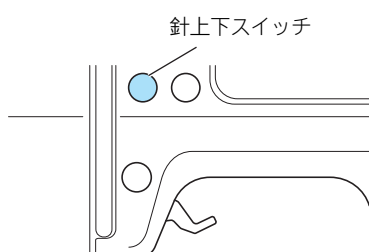
- 刺しゅう枠は、刺しゅう枠ホルダーに正しくセットしてください。正しくセットされていないと、刺しゅう枠が押えに当たり、けがの原因となります。

## 刺しゅう枠を取り外す

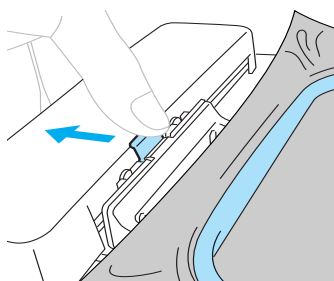
- 1 押えレバーを上げます。



- 2 ① (針上下スイッチ)を1回または2回押して、針を上げます。



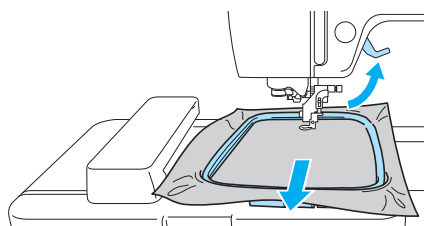
- 3 刺しゅう枠ホルダーの図の部分に左に押し、刺しゅう枠を持ち上げます。



▶ 刺しゅう枠が刺しゅう枠ホルダーから外れます。

- 4 押えレバーをさらに上げて、押えの下から刺しゅう枠を取り出します。

このとき、押えレバーは固定されません。



## ！ 注意



- 操作スイッチには触れないでください。操作スイッチに手が接触すると、ミシンが動き、針が折れたり、針で指をさすおそれがあります。

## 2

## 刺しゅうをする

ここでは、刺しゅうの手順を説明します。

|                    |    |
|--------------------|----|
| 刺しゅう模様を選びましょう..... | 50 |
| 刺しゅうをしてみましょう.....  | 59 |
| こんなとき.....         | 64 |
| 模様の記憶機能を使う .....   | 71 |

## 刺しゅう模様を選びましょう

刺しゅうする模様を選択します。

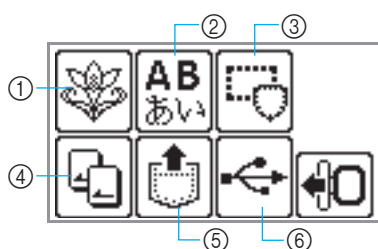


### お願い

- ミシン本体や別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅう模様は、一般家庭用としてのみご利用いただけます。営利または業務目的で使用することは、著作権法上固く禁じられておりますのでご注意ください。

## 刺しゅう模様の種類

刺しゅう模様には、次のグループがあります。



- ① **ワンポイント模様**  
花や動物など 56 の模様があります。液晶画面に表示される指示に従って上糸を交換しながら刺しゅうを完成させます。模様の選び方については、「ワンポイント模様を選ぶ」(→P.55)を参照してください。
- ② **アルファベット (5 書体)**  
大文字／小文字／数字／記号 (13 文字) ／ヨーロッパ文字があります。模様の選び方については、「文字模様を選ぶ」(→P.53)を参照してください。  
**ひらがな／カタカナ／数字／漢字 (ゴシック体／明朝体／丸文字)**  
ひらがな／カタカナ／数字／漢字 (27 文字) ／記号 (7 文字) があります。模様の選び方については、「文字模様を選ぶ」(→P.53)を参照してください。
- ③ **枠模様**  
四角や円などの 10 種類の形と、12 種類のステッチを組み合わせることができます。模様の選び方については、「枠模様を選ぶ」(→P.56)を参照してください。
- ④ **刺しゅうカード**  
別売の刺しゅうカードの模様を刺しゅうするときに押します。模様の選び方については、「刺しゅうカードを使う」(→P.57)を参照してください。

- ⑤ **ミシンに記憶させた模様の呼び出し**  
よく使用する文字の組み合わせなどの模様をミシンに記憶させて、あとで呼び出して刺しゅうすることができます。12 組までの模様を記憶させることができます。記憶のさせ方と呼び出し方については、「模様を記憶させる」(→P.75)、「模様を呼び出す」(→P.76)を参照してください。
- ⑥ **USB フラッシュメモリー (USB フラッシュドライブ) からの模様の取り込み**  
USB フラッシュメモリーから模様を取り込んで刺しゅうすることができます。



### お願い

- このミシンの USB ポートには、USB フラッシュメモリー (USB フラッシュドライブ) のみ取り付けることができます。

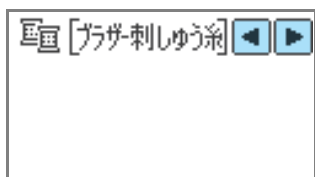
詳細は「パソコンの模様を呼び出す」(→P.73)を参照してください。

## 液晶画面の操作

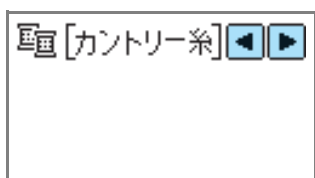
### □ 刺しゅう中の表示設定

[設定] を押して [ ] を押した後、[◀▶] で刺しゅう中に表示させる項目を選択します。

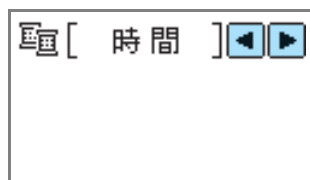
ブラザー刺しゅう糸：ウルトラパスの色番号



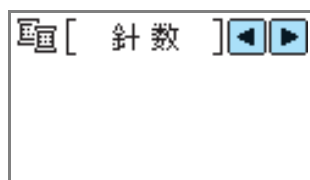
カントリー糸：カントリー糸の色番号



時間：刺しゅうに必要な時間



針数：針が進んだ数



糸色名：一般的な色の名称



## ■ 液晶画面のキー

[画面例：アルファベット選択画面]



選択した文字模様の文字列を確認することができます。◀ ▶で表示を切り替えます。



自動糸切りや糸密度などの糸の設定をします。



自動糸切りを設定／解除します。設定されているときは反転表示されます。

Www...%



で糸密度を調節します。

(文字模様と枠模様のみ)



刺しゅうのしかたを設定したり、模様のレイアウトを調整したりするときに押します。



文字模様を1文字ずつ色を替えて刺しゅうするときに押します。1文字刺しゅうするごとにミシンがストップします。色替が設定されているときは反転表示されます。



ぬい目を戻したり進めたりします。特定の糸色のみ 刺しゅうしないときや、ミシンの電源を切ったあと、途中から再開するときに使用します。詳細は、「刺しゅうし直したいとき」(→P.68) で説明します。



1 色戻る



1 色進む



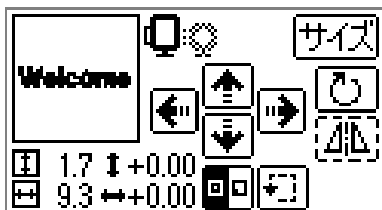
1 針戻る (押したままにすると、9 針→30 針ずつ戻ります。)



1 針進む (押したままにすると、9 針→30 針ずつ進みます。)



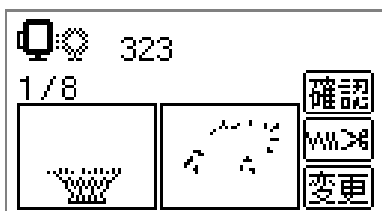
刺しゅう枠内の模様の位置を確認したり、模様の大きさや角度を変更したりします。詳細は、「模様のレイアウトや大きさを調整する」(→P.64)で説明します。



### お知らせ

- 液晶画面のキーが点線で表示されているとき(例: ) は、その機能は使用できません。

[画面例：ワンポイント模様選択画面]



選択した模様の色替の順番を確認することができます。◀ ▶ で表示を切り替えます。



## 文字模様を選ぶ

刺しゅうする文字を選択します。

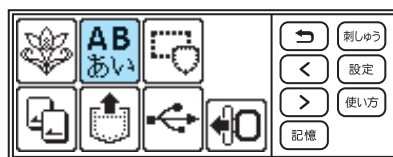


### お知らせ

- 「模様が枠からはみだします。」と表示されたときは、それ以上文字を選択することはできません。
- 異なるグループ(アルファベットとかな、ゴシック体と明朝体など)の文字を組み合わせることはできません。
- 組み合わせた文字をミシンに記憶させることができます。詳細は、「模様を記憶させる」(→P.75)で説明します。

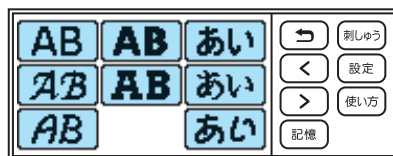
1

**AB**  
**あい**を押します。



2

文字グループを選択します。



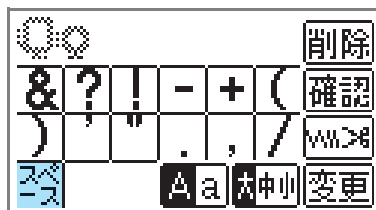
3

文字を選択します。



### お知らせ

- 誤って文字を選択したときは、**削除**を押します。
- 文字と文字の間にスペースを入れたい場合
  - ・ アルファベットのとき  
を押します。
  - ・ ひらがな/カタカナのとき  
を押してから、を押します。



□ [例] 「Welcome」 を選択する場合

**Aa** 大文字／小文字切り替え

**大中小** 大／中／小切り替え

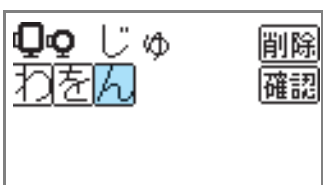
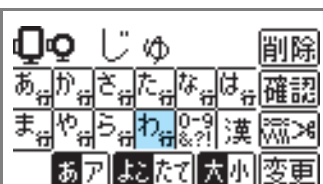
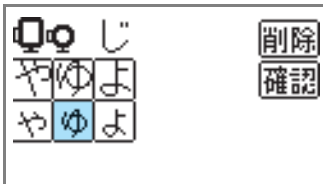
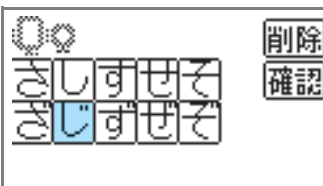


□ [例] 「じゅんいち」 を選択する場合

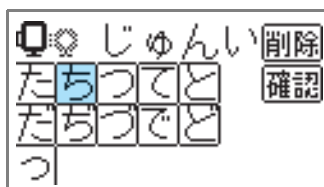
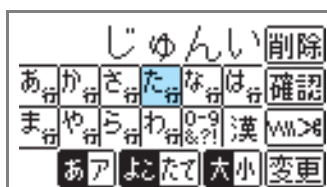
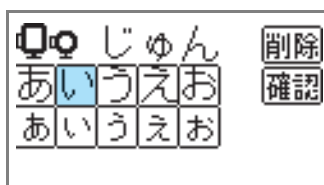
**あア** ひらがな／カタカナ切り替え

**大中小** 大／小切り替え

**よたて** 横書き／縦書き切り替え







選択した文字を確認するときは、**確認**を押します。



## ワンポイント模様を選ぶ

花や動物など、56のワンポイント模様が内蔵されています。



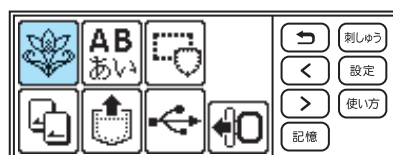
ワンポイント模様 (56)



### お知らせ

- 模様のできあがり見本と使用する系については、操作早見表の「刺しゅう模様一覧」を参照してください。

### 1 ワンポイント模様を選択します。



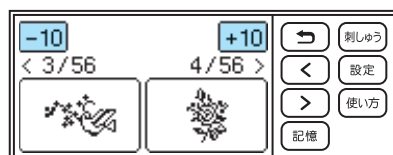
▶ 模様の選択画面が表示されます。

### 2 模様を選択します。

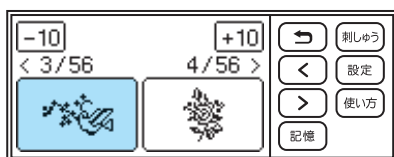
**<** (前ページキー) **>** (次ページキー)  
で画面を切り替えます。



**-10** **+10**を押すと、-10番目／+10番目の模様を表示することができます。



希望の模様が表示されたら、画面上の模様を押して選択します。



▶ 刺しゅう画面が表示されます。



## 枠模様を選ぶ

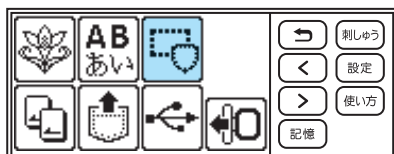
四角や円などの 10 種類の形と、12 種類のステッチを組み合わせることができます。



### お知らせ

- 枠の形とステッチについては、操作早見表の「刺しゅう模様一覧」を参照してください。

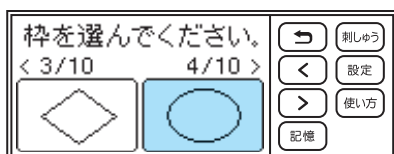
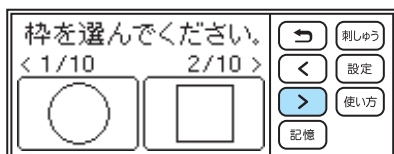
## 1 枠を押します。



▶ 枠の形の選択画面が表示されます。

## 2 枠の形を選択します。

◀ (前ページキー) ▶ (次ページキー) で画面を切り替えて、10 種類の中から選択します。



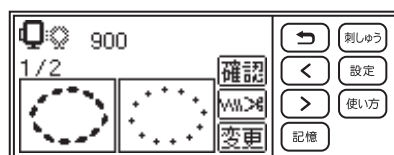
▶ 枠のステッチの選択画面が表示されます。

## 3 枠のステッチを選択します。

◀ (前ページキー) ▶ (次ページキー) で画面を切り替えて、12 種類の中から選択します。



▶ 刺しゅう画面が表示されます。



## 刺しゅうカードを使う

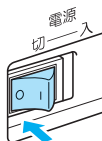
ミシン本体に内蔵されている模様以外に、別売の刺しゅうカードの模様を刺しゅうすることができます。刺しゅうカードには、テーマ別にいろいろな模様があります。



### お願い

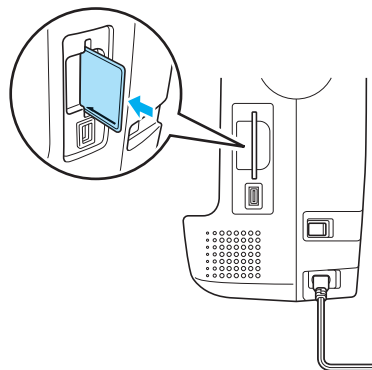
- 刺しゅうカードは、必ず電源を切って抜き差ししてください。
- 刺しゅうカードは、刺しゅうカード差し込み口に正しい方向に差し込んでください。
- 刺しゅうカード差し込み口に、刺しゅうカード以外のものを入れないでください。
- 刺しゅうカードを使用しないときは、収納ケースに入れて保管してください。
- 当社の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードを使用してください。
- 外国で販売されている刺しゅうカードは使用できません。
- 刺しゅうカードに内蔵されている大きな模様は、液晶画面で見にくい場合があります。ご了承ください。

### 1 電源を切ります。

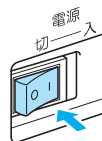


### 2 ミシン本体右側面の刺しゅうカード差し込み口に刺しゅうカードを差し込みます。

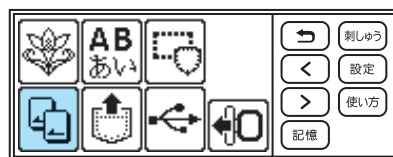
刺しゅうカードに記されている矢印を手前にして、まっすぐぐいっばいまで差し込みます。



### 3 電源を入れます。



### 4 [カード] を押します。



▶ 模様の選択画面が表示されます。

### 5 模様を選択します。

「ワンポイント模様を選ぶ」(→ P.55) と同様に操作します。



## ■ 漢字カードの場合

漢字カードに添付されている文字コード表を参照して、4桁の数字を入力します。



### お知らせ

- 数字をまちがえたときは、**削除**を押します。

▶ 入力した文字コードの漢字が表示されます。



### お知らせ

- 文字を組み合わせるときは、続けて次の文字の文字コードを入力します。

# 刺しゅうをしてみましょう

準備ができたら刺しゅうしてみましょう。ここでは、ワンポイント模様の場合を例に説明します。

## 刺しゅうする前に模様を確認する

刺しゅう枠が動いて刺しゅうする位置を示します。刺しゅう枠の動きを見て正しい位置に刺しゅうされるかを確認してください。

### 1 模様を選択してから、**変更**を押します。

▶ 模様画面が表示されます。

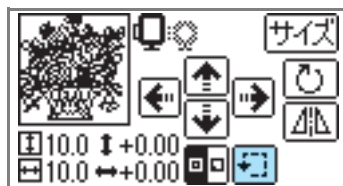


### 2 **レイアウト**を押します。

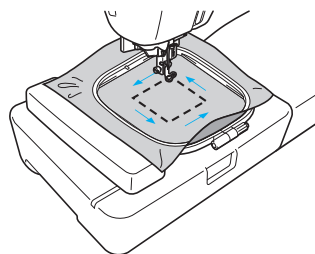


▶ レイアウト調整画面が表示されます。

### 3 **サイズ**を押します。



▶ 刺しゅう枠が動き、刺しゅうの範囲を示します。



## ！ 注意



- 刺しゅう枠が動いているときは、針を絶対に下げないでください。針が折れたり曲がったりすると、けがの原因になります。

## ワンポイント模様を 刺しゅうする

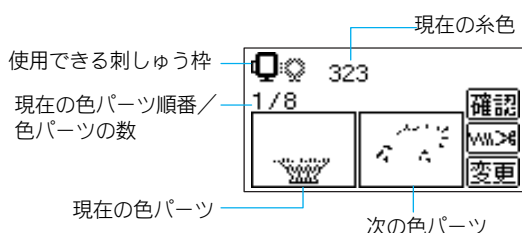
ワンポイント模様は、1色ごとに糸色を替えて刺しゅうします。



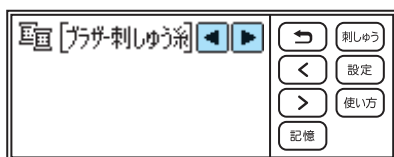
### お願い

- 下糸は、必ず刺しゅう用の下糸を使用してください。

## 1 液晶画面に表示される色の刺しゅう糸を用意します。



液晶画面の糸色表示は、**設定** (設定キー) を押して、ブラザー刺しゅう糸番号/カントリー糸番号/ぬい時間/針数/糸色名の間で切り替えることができます。糸色表示の切り替え方については、「刺しゅう中の表示設定」(→P.51)を参照してください。



## [例] 糸色名で表示する場合



## 2 刺しゅう糸をセットし、針に糸を通します。

- ・「上糸を通す」(→P.38)を参照してください。

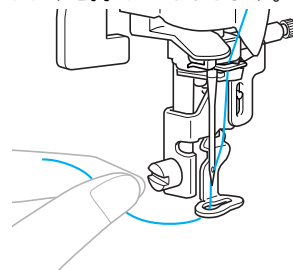


### お願い

- 糸通し装置を使用するときは、必ず押えを下げてください。

## 3 刺しゅう押え<Q>の穴に糸を通し、左手で軽く持ちます。

糸にたるみを持たせておきます。

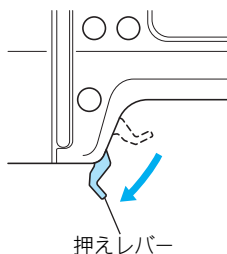


## ! 注意

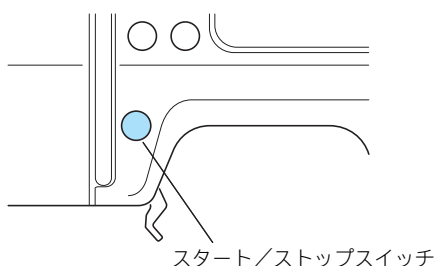


- 糸を引っ張りすぎると、針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- 刺しゅう中に手や物がキャリッジに当たらないようにしてください。模様がくずれるおそれがあります。

#### 4 押えレバーを下げます。



#### 5 (スタート/ストップスイッチ)を押します。



### 注意

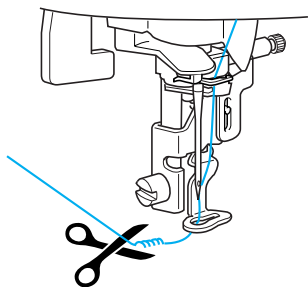


- 使用できないサイズの刺しゅう枠で刺しゅうをすると、針が刺しゅう枠に当たり、針折れやけがの原因となります。使用できるサイズの刺しゅう枠が取り付けられていることを確認してから、刺しゅうをしてください。

#### 6 5～6針ぬったら (スタート/ストップスイッチ)を押して、ミシンをストップさせます。

#### 7 ぬい始めの余分な糸をはさみで切ります。

ぬい目のきわで糸を切ります。



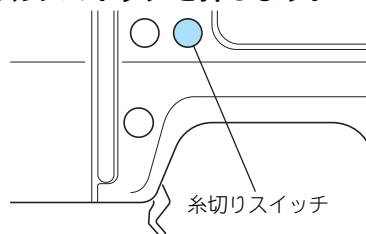
### お願い

- ぬい始めの余分な糸を残したまま刺しゅうを続けると、模様の中に糸がぬい込まれてきれいに始末しにくくなります。ぬい始めの糸は、1色ごとにはさみで切ってください。

#### 8 (スタート/ストップスイッチ)を押して、刺しゅうを再開します。

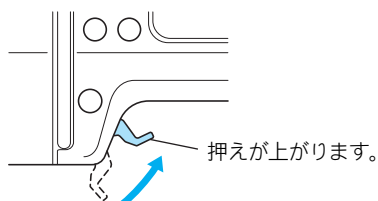
- ▶ 1色目を刺しゅうし終わると、自動的に止めぬいをしてストップします。自動糸切りを設定しているときは、糸が切れます。(その場合は、手順 10 に進んでください。)

#### 9 糸切りスイッチを押します。



- ▶ 針が上がり、糸が切れます。

#### 10 押えレバーを上げます。



### お知らせ

- 押えが下がった状態では、上糸を交換することができません。

#### 11 上糸を取り外します。

### お願い

- 上糸を取り外すときは、必ず押えレバーを上げてください。押えが下がったまま上糸を取り外すと、故障の原因になります。

## 12 次の色の刺しゅう糸を用意し、②～⑪を繰り返します。

- ▶ 最後の色を刺しゅうし終わると、「ぬい終わりました」と表示されます。**[OK]**を押すと、もとの画面に戻ります。

## 13 余分な渡り糸を切ります。



### お知らせ

- 自動糸切りの設定については、「液晶画面のキー」(→P.52)を参照してください。

## アップリケをする

土台になる布地とアップリケをする布地(アップリケピース)を用意します。**[設定]**(設定キー)を押して糸色表示をブラザー刺しゅう糸、カントリー刺しゅう糸、糸色名のいずれかに設定すると、液晶画面に「アップリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」と表示されます。

### 1 アップリケ模様を選択します。



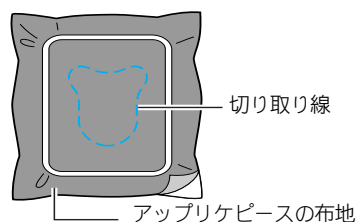
- ▶ 液晶画面に「アップリケピース」と表示されます。

### 2 アップリケピースの布地の裏に接着芯を貼り、布地を刺しゅう枠に張ります。

### 3 押えレバーを下げ、**[スタート/ストップスイッチ]**を押します。



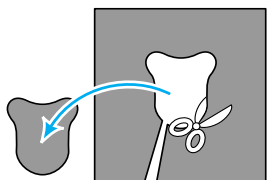
- ▶ アップリケピースの切り取り位置をぬって、ミシンがストップします。液晶画面に「アップリケノイチ」と表示されます。





- 4 布地を刺しゅう枠から取り外し、ぬい目に沿って切り取ります。

ぬい目の上をていねいに切り、糸を取り除きます。



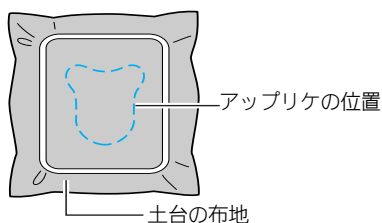
- 5 土台になる布地を刺しゅう枠に張ります。

- 6 アププリケをぬう糸をセットします。

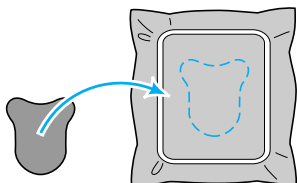
- 7 押えレバーを下げ、 (スタート/ストップスイッチ) を押します。



- ▶ アププリケの位置をぬって、ミシンがストップします。液晶画面に「アププリケ」と表示されます。



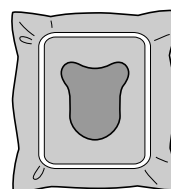
- 8 アププリケピースの裏にのりを薄く付け、アププリケの位置に貼り付けます。



- 9 押えレバーを下げ、 (スタート/ストップスイッチ) を押します。



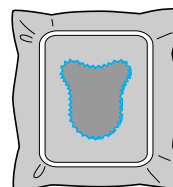
- ▶ アププリケピースを土台の布地にぬって、ミシンがストップします。



### お知らせ

- 液晶画面に「アププリケピース」、「アププリケノイチ」、「アププリケ」と表示されるときは、使用する糸色が表示されません。アププリケ模様にあった糸色を選択してください。

- 10 画面に従って残りのパーツを刺しゅうします。



## こんなとき

ここでは、模様のレイアウト調整のしかたや他の便利な機能を説明します。

### 模様のレイアウトや大きさを調整する

模様を選択すると、刺しゅう枠の中心に配置されます。刺しゅうを始める前にレイアウトを確認し、位置や大きさを変更することができます。

#### 1 刺しゅう模様を選択したら、**変更**を押します。

▶ 模様画面が表示されます。

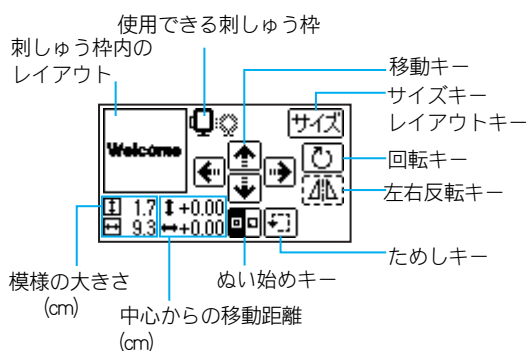


#### 2 **レイアウト**を押します。



▶ レイアウト調整画面が表示されます。

#### 3 レイアウトや大きさを確認し、調整します。



#### 刺しゅう枠のサイズ

使用できる刺しゅう枠のサイズを表します。小さい方のマークがうすく表示されているときは、刺しゅう枠[S] (別売品) は使用できません。模様の高さを変更したり模様を移動させたりして、使用できる刺しゅう枠のサイズが変わると、マークが点滅します。

### ! 注意



- 使用できないサイズの刺しゅう枠で刺しゅうをすると、押えが刺しゅう枠に当たり、針折れやけがの原因となります。使用できるサイズの刺しゅう枠が取り付けられていることを確認してから、刺しゅうをしてください。



#### サイズキー

模様を拡大／縮小します。押すと、**レイアウト**に変わります。**レイアウト**を押すと、もとの画面に戻ります。



縮小



- ・ もとの大きさに戻す
- ・ もとの位置に戻す



拡大



#### 移動キー

模様を上下左右に移動させます。



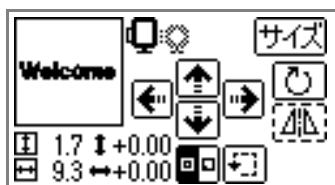
### お知らせ

- 模様の高さ変更や左右反転を行なうと、移動した模様は元の位置へ戻ります。高さ変更や左右反転をしてから模様を移動させてください。
- 模様の高さや位置を変更したときは、液晶画面に表示される「中心からの移動距離」や「模様の高さ」を控えておくと、電源を入れ直しても同じように模様を刺しゅうすることができます。



### レイアウトキー

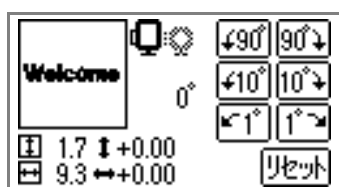
模様を回転させたり、左右反転させたりします。



### 回転キー

模様を 1° ずつ、10° ずつ、または 90° ずつ回転させます。

(戻るキー) を押すと、もとの画面に戻ります。



反時計回りに 90° 回転

時計回りに 90° 回転

反時計回りに 10° 回転

時計回りに 10° 回転

反時計回りに 1° 回転

時計回りに 1° 回転

もとの角度 ( 0° ) に戻す



### お知らせ

- 刺しゅうの範囲が 10cm × 10cm をはみ出している場合、角度の微調整ができないことがあります。



### 左右反転キー

模様を左右反転させます。



### お知らせ

- 左右反転は、ワンポイント模様と枠模様のみ可能です。



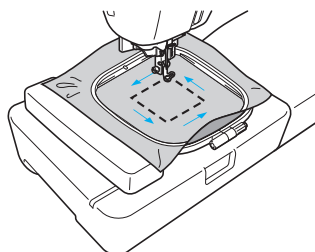
### ぬい始め位置切り替えキー

ぬい始めの位置を中心、または左下に切り替えます。(戻るキー) を押すと、もとの画面に戻ります。



### ためしキー

刺しゅう機のキャリッジが移動し、刺しゅうの範囲を確認できます。



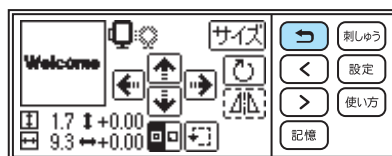
### 注意



- 刺しゅう枠が動いているときは、針を絶対に下げないでください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。
- レイアウトを調整したあとは、必ず使用できる刺しゅう枠のサイズを確認してください。使用できないサイズの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、けがの原因となります。

4

(戻るキー) を押して、もとの画面に戻ります。



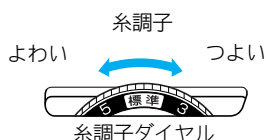
### お知らせ

- 液晶画面のキーが点線で表示されているとき(例: ) は、その機能は使用できません。
- レイアウトを調整した模様をミシンに記憶させることができます。詳細は、「模様を記憶させる」(→ P.75) を参照してください。
- 電源を切ると、調整した模様のレイアウトや大きさは、元の設定に戻ります。
- 刺しゅうを始めた後も、 を押すと、模様 の大きさや中心からの移動距離を確認できます。

## 上糸調子を調節する

糸調子が正しく設定されていないと、刺しゅうを失敗したときに、糸をほどくことが難しく、布地をいためることがあります。刺しゅうを始める前に、同じ布地のはぎれを使用して糸調子などを確認してください。

上糸の糸調子は、本体の糸調子ダイヤルで調節します。刺しゅうぬいの時は、ダイヤルに色がついている2～6の範囲で糸調子を調節してください。



### お知らせ

- 表側の刺しゅう糸がたるんで糸の締りがゆるい場合や、表側に糸のループができてしまう場合は、糸調子ダイヤルを1目盛りほど強くしてぬい直します。

### ■ 正しい糸調子

布地の裏に上糸が少し見えます。



### ■ 上糸が強いとき

布地の表に下糸が見えている場合は、上糸を弱くします。



### ■ 上糸が弱いとき

上糸がたるんでいる場合は、上糸を強くします。



### お願い

- 下糸セットと上糸通しが正しく行われていない場合、糸調子が合わないことがあります。糸調子を調節しても糸調子が合わないときは、下糸セットと上糸通しをやり直してください。
- 糸調子ダイヤルを極端に弱く設定すると、途中でミシンが停止する場合がありますが故障ではありません。糸調子ダイヤルを少し強めにセットしてぬい直してください。

## 長い文字をつなげてぬう

組み合わせた文字が刺しゅう枠内に入りきらないときは、以下の手順でぬいます。

■ [例] “ABC” と “DEF” をつなげてぬう場合

1 “ABC” を選択し、 を押します。



2 を にして、自動糸切りを解除します。



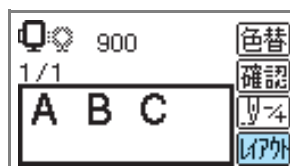
3 (戻るキー) を押します。



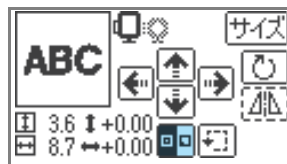
4 を押します。



5 を押します。



6 を押して にします。



▶ ぬい始めの針位置が左下になります。

7 押えを下げ、 (スタート/ストップスイッチ) を押してぬいます。

8 ぬい終わりの糸を長めに切り、次の “DEF” がぬえる位置に布地を張り替えます。



ぬい始めの位置      ぬい終わりの位置

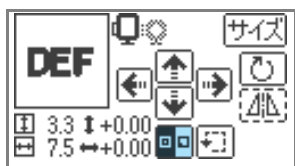
9 “DEF” を選択し、 を押します。



10 を押します。

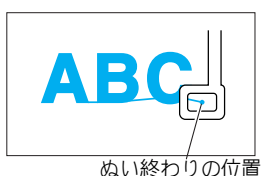


- 11  を押して  にします。



▶ めい始めの針位置が左下になります。

- 12    を押し、“ABC” のめい終わりの位置に針を合わせます。



- 13 押えを下げ、 (スタート/ストップスイッチ) を押してめいます。



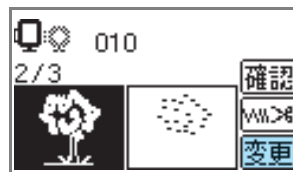
- 14 めい終わったら糸を切ります。

## 刺しゅうし直したいとき

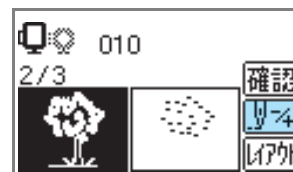
上糸の色を誤って刺しゅうしたときは、正しい色の上糸をセットして刺しゅうし直します。

- 1  (スタート/ストップスイッチ) を押してミシンをストップさせます。

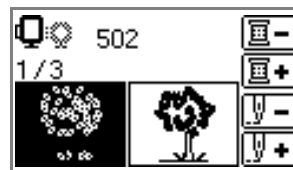
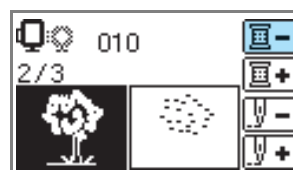
- 2  を押します。



- 3  を押します。



- 4  (1色戻る) を押して、色を誤ったパーツの先頭に戻します。もう一度  を押すとさらに前の色に戻ります。



- 5 正しい色の上糸をセットします。

- 6  (スタート/ストップスイッチ) を押して刺しゅうを再開します。

## 途中で糸がなくなったとき

刺しゅうの途中で上糸または下糸がなくなると、ミシンが自動的にストップします。その場合は、10針ほど前に戻して重ねてぬいます。

### 1 上糸または下糸をセットします。



#### お知らせ

- 下糸がなくなった場合は、糸を切って刺しゅう枠を外してから、下糸を交換してください。

### 2

**変更** を押します。



#### お知らせ

- 針数が表示されていないときは、針数を表示させてください。詳細は、「刺しゅうを中断するとき」(→P.69)を参照してください。

### 3

**V-4** を押します。



### 4

**V-** (1針戻る) を押して、ミシンがストップしたところより10針ほど前まで針数を戻します。

針数を進めるときは、**V+** (1針進む) を押します。



### 5

刺しゅうを再開します。



## 刺しゅうを中断するとき

刺しゅうを中断するときには、電源を切る前に現在の針数やレイアウト設定を確認しておきます。



#### お知らせ

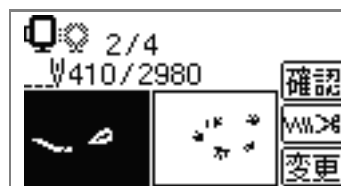
- 電源を切ると、模様の大きさやレイアウトはもとに戻ります。レイアウトを変更した場合は、再び設定を行ってください。

### 1

**スタート/ストップスイッチ** を押してミシンをストップさせます。

### 2

液晶画面に表示されている現在の針数を控えます。



針数が表示されていないときは、**設定** (設定キー) を押して表示を切り替えます。**戻る** (戻るキー) を押すと、もとの画面に戻ります。

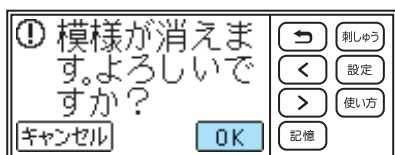


3 刺しゅう (刺しゅうキー) を押します。



▶ 確認メッセージが表示されます。

4 OK を押します。



▶ 選択した模様が消え、模様を選択画面に戻ります。

5 電源を切ります。



お願い

- ミシンを移動させるときは、必ず刺しゅう機を取り外してください。

6 電源を入れ、模様を選択します。



お知らせ

- 模様の大きさやレイアウトを変更して刺しゅうをしていた場合は、再び中断前と同様に設定を行ってください。詳細は、「模様のレイアウトや大きさを調整する」(→ P.64) を参照してください。

7 変更 を押します。



8 [1/4] を押します。



9 [1色進む] を押して、刺しゅうする色パーツの先頭に進めます。



10 [1針進む] を押して、針数を進めます。

[1針進む] を押したままにすると、1針→9針→30針ずつ進みます。



中断したところより10針ほど前まで針数を進めます。



11 刺しゅうを再開します。



# 模様の記憶機能を使う

## 刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶させたデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、次の点に注意してください。

### ！ 注意

- 当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以上の重ねぬいをする場合があります。糸切れや針折れが発生するおそれがあります。そのような場合は、当社正規の刺しゅうソフト（刺しゅう PRO など）で刺しゅうデータを修正して使用してください。

#### ■ 使用可能な刺しゅうデータの種類

- ・ このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pen、.pes、.dst ファイルのみです。.pen ファイルはコピー防止機能付きの刺しゅうデータ、.pes ファイルは当社正規のデータ作成装置（刺しゅう PRO など）で作成された刺しゅうデータです。
- ・ 当社正規のデータ作成装置またはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤動作するおそれがあります。

#### ■ 使用可能な USB メディアの種類

USB フラッシュメモリー（USB フラッシュドライブ）（どの容量でも可）が使用可能です。

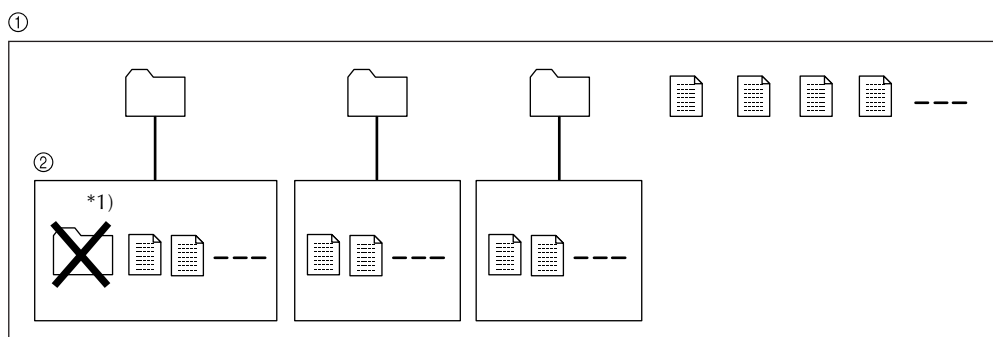
### ★ お願い

- このミシンの USB ポートコネクタには、USB フラッシュメモリー（USB フラッシュドライブ）以外は接続することができません。
- USB フラッシュメモリーの中には、このミシンに対応できないものもあります。対応機種については、当社のウェブサイトをご覧ください。
- アクセスインディケーター付 USB フラッシュメモリーを使用する場合は、パソコンやミシンに USB フラッシュメモリーを挿入したときに、アクセスインディケーターが点滅し始め、USB フラッシュメモリーが認識されるまで約5～6秒かかることがあります。（USB フラッシュメモリーの種類によって、認識されるまでの時間が異なります。）
- その他の情報については、お持ちの USB フラッシュメモリーに付属の取扱説明書を参照してください。

#### ■ パソコンで作成・保存するときの注意

- ・ 刺しゅうデータのフォルダ名またはファイル名に特殊記号などを使用すると、ミシンがそれを認識できないために模様が表示されないことがあります。その場合は、ファイル名を変更してください。アルファベット（大文字と小文字）、数字（0～9）、「-」、「\_」のみの使用をおすすめします。
- ・ 針数、色数、組み合わせ模様数の制限を越えてデザインされた .pes ファイル、.pen ファイルは使用できません。当社正規の刺しゅうソフト（刺しゅう PRO など）で、制限内のデザインに修正して使用してください。
- ・ 刺しゅう機が取り付けられていなくても、ミシンは刺しゅうデータを認識することができます。

- ・ 刺しゅうデータは、USB フラッシュメモリーのルートフォルダに直接保存するか、またはサブフォルダ内に直接保存してください。もし刺しゅうデータをサブフォルダ内のフォルダに保存した場合、ミシンからファイル呼び出すことはできません。  
下図を参考に、刺しゅうデータファイルを USB フラッシュメモリーに保存してください。



- ① USB フラッシュメモリーのルートフォルダ  
② サブフォルダ

: フォルダ

: 刺しゅうデータファイル

\*1) サブフォルダ内には、フォルダを作成しないでください。

- ・ ミシンで呼び出すことのできる USB フラッシュメモリー内の刺しゅうデータファイルとフォルダの合計数は、最大で 200 個です。(例えば、5 個のフォルダと 195 個の刺しゅうデータファイル呼び出すことができます。) 201 個以上のファイル（フォルダも含む）を保存した場合、ミシンが USB フラッシュメモリーの内容を認識できなくなるため、模様を呼び出すことができません。そのような場合は、保存したファイル（フォルダも含む）の数を減らしてください。
- ・ 刺しゅうデザインの色数が多すぎる場合（色数はデザインによって変わります）、USB フラッシュメモリー内のファイル（フォルダも含む）の数が 200 個以内であっても、ミシンが刺しゅう模様を呼び出すことができなくなることがあります。そのような場合も、保存したファイル（フォルダも含む）の数を減らしてください。



## お知らせ

- フォルダ名とファイル名には、半角文字と半角数字のみ使用することができます。フォルダ名またはファイル名を半角 8 文字以内にすれば、画面に名前がフルネームで表示されます。もし 8 文字以上にした場合は、最初の 6 文字と、続いて「～」と数字のみが表示されます。この現象は、フォルダ名と .dst 刺しゅうデータファイル名のに起こります。

## ■ タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータについて

- ・ .dst データは模様一覧画面にファイル名で表示されます。(実際の絵柄は表示されません。)  
実際の絵柄を表示するには、 を押してください。

## パソコンの模様を呼び出す

USB フラッシュメモリーを使用して、パソコンに保存された模様をミシンへ呼び出すことができます。以下の手順に従って進めてください。

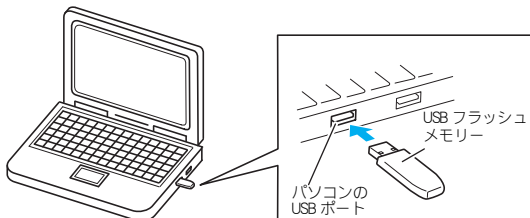
- 1 「刺しゅうデータに関する注意」(→ P.71 ~ 72) をよく読んでから、パソコン内に刺しゅうデータを準備します。



### お願い

- 「刺しゅうデータに関する注意」(→ P.71 ~ 72) にあるすべての注意事項をよく読み、理解してください。理解しない状態で進めると、模様データをミシンに正しく呼び出せないおそれがあります。

- 2 パソコンのUSBポートにUSBフラッシュメモリーを差し込みます。



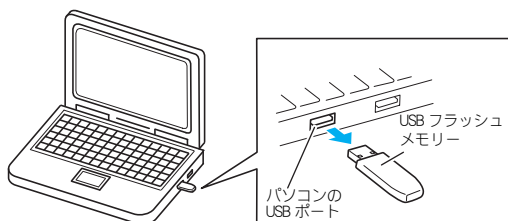
- 3 パソコンで「コンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」を選択します。



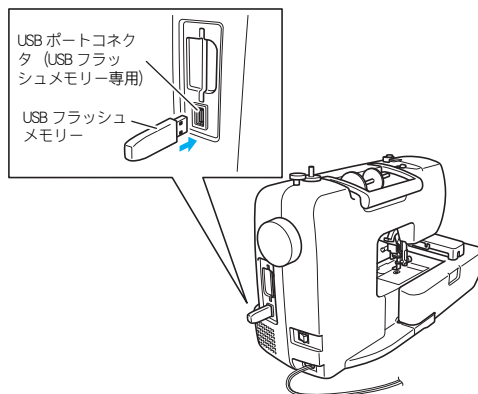
- 4 「リムーバブルディスク」内に、刺しゅうデータ(フォルダ・模様データ)をコピーします。



- 5 パソコンのUSBポートからUSBフラッシュメモリーを注意して取り外します。

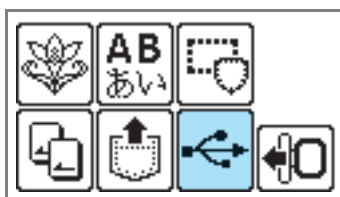


- 6 ミシンのUSBポートコネクタにUSBフラッシュメモリーを差し込みます。



刺しゅうをする

## 7 を押します。



- ▶ USB フラッシュメモリーのルートフォルダ内にあるフォルダ、または模様データが表示されます。

## お知らせ

- 最初にフォルダ名が  のアイコン上にアルファベット順に表示され、次に .pes ファイル、.pen ファイル、.dst ファイルが  のアイコン上にアルファベット順に表示されます。



- .pes ファイル、.pen ファイルには模様の絵柄が表示され、.dst ファイルにはファイル名・ファイルフォーマット・ファイルサイズが表示されます。

## お願い

- USB フラッシュメモリーに含まれている模様の数が 201 個以上（フォルダも含む）ある場合、または（模様数が 201 個以上なくても）刺しゅうデザインの色数が多すぎる場合は、「模様を減らしてください」というエラーメッセージが表示されます。その場合は、ミシンから USB フラッシュメモリーを取り外し、パソコン上で模様の数を減らしてください。ミシンのエラーメッセージを消して、手順 6 からやり直してください。

## 8 呼び出す模様データが入ったフォルダ、または模様ファイルを選択します。

（前ページキー） （次ページキー）で画面（ページ）を切り替えます。

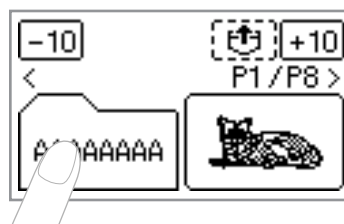
現在表示されているページ／総ページ数



模様ファイル（絵柄またはファイル名）

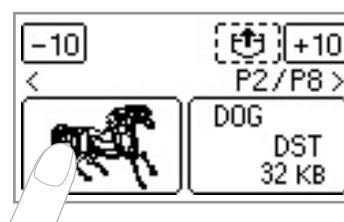
- ・  /  を押すと、10 個前または 10 個後のフォルダ・模様表示に切り替わります。

### ■ フォルダを選択したとき



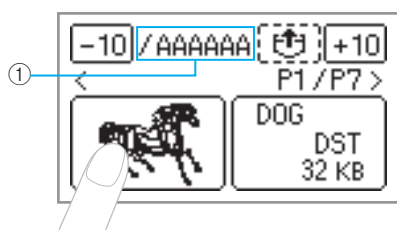
- ▶ フォルダ内の模様データが表示されます。手順 9 に進んでください。

### ■ 模様ファイルを選択したとき



- ▶ 模様が反転表示されます。手順 10 に進んでください。

## 9 呼び出す模様を選択します。



① フォルダ名（フォルダを選択したときは、6文字まで表示）

・ルートフォルダに戻るには、 を押します。

## 10 を押します。



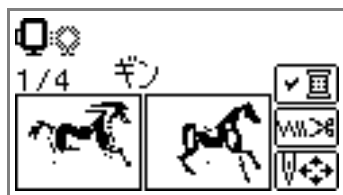
\*1) この部分の表示は手順 ③ の操作によって異なります。

- ▶ 模様が呼び出されます。
- ▶ 刺しゅう画面が表示されたら、準備完了です。

## 11 ミシンに模様を記憶したい場合は、 を押します。



## 12 必要に応じて模様を調整してから刺しゅうをはじめます。



## 模様を記憶させる

名前などのよく使用する文字の組み合わせや、大きさや位置を調整した模様などをミシンに記憶させることができます。一度記憶した模様はミシンの電源を切っても消えることはありませんので、いつでも模様を呼び出すことができます。12組までの模様または512KBまでのデータ量を記憶させることができます。

### 1 記憶させる模様を選択したら、（記憶キー）を押します。



- ▶ 「記憶中」と表示されます。完了すると、もとの画面に戻ります。

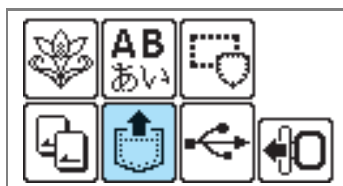
### お願い

- 記憶中は、ミシンの電源を切らないでください。途中で電源を切ると、模様データが消えることがあります。

## 模様を呼び出す

ミシンに記憶させた模様を呼び出して、刺しゅうすることができます。

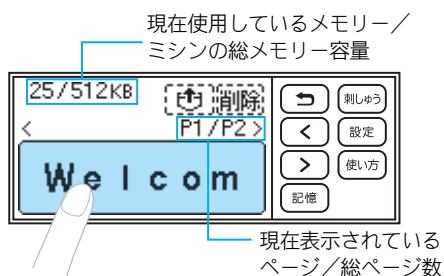
### 1 を押します。



▶ ミシンに記憶させた模様が表示されます。

### 2 呼び出す模様を選択します。

 (前ページキー)  (次ページキー) で画面を切り替えて、呼び出す模様のキーを押します。



▶ 模様が反転表示されます。

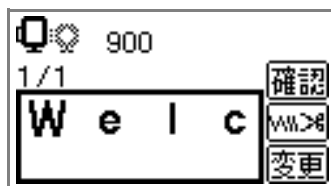
### 3 を押します。

 を押すと、選択した模様を消去します。



▶ 模様が呼び出され、刺しゅう画面が表示されます。

### 4 必要に応じて模様を調整してから、刺しゅうします。



# 3

## 付録

ここでは、ミシンのお手入れ方法と困ったときの対処方法などを紹介します。

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| お手入れ.....                        | 78 |
| 刺しゅう押え〈Q〉を取り付ける.....             | 80 |
| 困ったとき.....                       | 82 |
| USB フラッシュメモリーを使っのアップグレードの方法..... | 90 |
| 本体仕様.....                        | 91 |
| さくいん.....                        | 92 |

## お手入れ

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。

### 注油に関して

お客様ご自身による本製品への注油は行わないでください。故障の原因となります。

本製品の動作に必要な油はあらかじめ十分に塗布されて出荷されていますので、定期的に注油する必要はありません。

万一、プーリーを回すと重い、異常な音がするなどの症状が発生した場合は、ただちに使用をやめて、お買い上げの販売店またはお客様相談室（ミシン 119 番）にご相談ください。

### ミシンを保管するときの ご注意

以下の場所にミシンを保管しないでください。結露によるさびの発生など、故障の原因となります。

- ・ 温度が著しく高くなる場所
- ・ 温度が著しく低くなる場所
- ・ 急激に温度が変化する場所
- ・ 湿気、湯気の多い場所
- ・ 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所
- ・ 屋外や直射日光の当たる場所
- ・ ほこり、油煙の多い場所



#### お願い

- 本製品を末永くご愛用いただくために、ときどき電源を入れて、刺しゅうしてください。長期間保管したまま使用しない状態が続くと、ミシンの性能を損なうおそれがあります。

### 本体表面の掃除

ミシン本体表面の汚れを取るときは、中性洗剤をうすめて布に浸して固くしぼり、ふき取ります。洗剤でふいたあとは、乾いた布でふき取ります。

### ！ 注意



- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けが・感電の原因となります。

### かまの掃除

針板の下にあるかまを掃除します。かまには糸くずやほこりがたまりやすく、刺しゅう不良になる場合があります。定期的に掃除してください。

#### 1 電源を切ります。



#### 2 電源プラグをコンセントから抜きます。

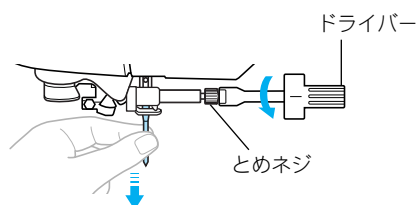
### ！ 注意



- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。けが・感電の原因となります。

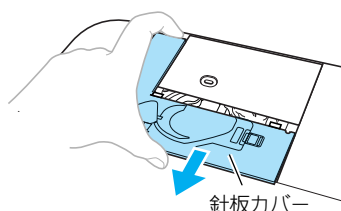
#### 3 刺しゅう機を取り外します。

#### 4 付属のドライバーで、針のとめネジをゆるめて針を抜きます。(→ P.30)



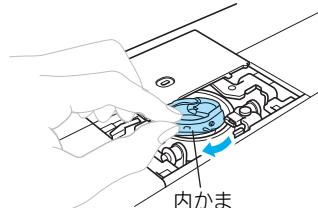


- 5** 針板カバーの向こう側に指を引っかけ、手前にスライドさせます。

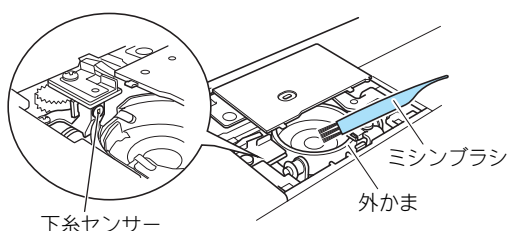


▶ 針板カバーが外れます。

- 6** 内かまを取り出します。  
内かまの手前部分を持って、上に引き出します。



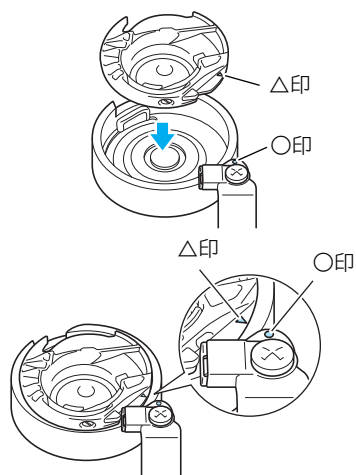
- 7** 付属のミシンブラシや掃除機で、外かま周辺の糸くずやほこりを取り除きます。



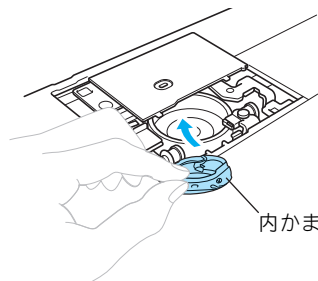
### お願い

- 内かまに油をささないでください。
- 糸くずやほこりが下糸センサー部分にたまると、センサーが正常に作動しないことがあります。

- 8** 下図のように△印と○印が合うように、内かまを取り付けます。

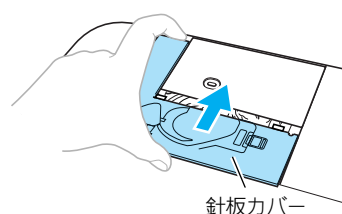


・ △印と○印を合わせます。



・ 合わせる位置を確認してから、取り付けを行ってください。

- 9** 針板カバーのツメの部分を針板に差し込んでから、奥にスライドさせます。



### ！ 注意



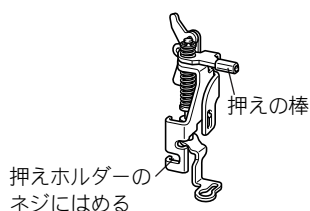
- キズが付いた内かまは使用しないでください。万一、使用すると、上糸がからみ、針折れや刺しゅう不良の原因となります。内かまはお買い上げの販売店でお買い求めください。
- 内かまは正しい位置に取り付けてください。針折れの原因となります。

# 刺しゅう押え〈Q〉を取り付ける

刺しゅう押え〈Q〉の取り付け方を説明します。

## 刺しゅう押え〈Q〉を取り付ける

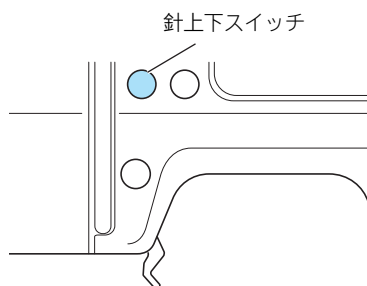
刺しゅう押え〈Q〉とドライバーを用意します。



### ！ 注意

- 必ず刺しゅう押え〈Q〉を使用してください。他の押えを使用すると、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。

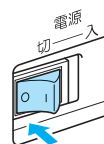
### 1 ④ (針上下スイッチ)を1回または2回押して、針を上げます。



### お願い

- 針が確実に上がっているときは、プーリーの印が真上になります。必ずプーリーの印が真上になっていることを確認してください。

### 2 電源を切ります。

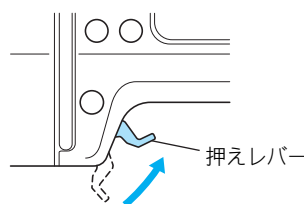


### ！ 注意



**押えの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。**万一、スタート/ストップスイッチまたは他のスイッチが押されると、ミシンが作動してけがの原因となります。

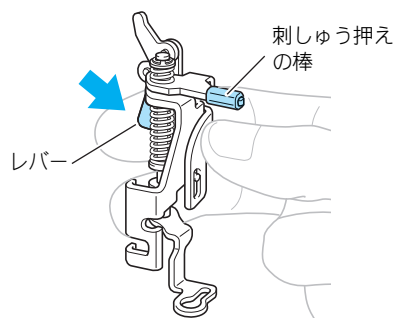
### 3 押えレバーを上げます。



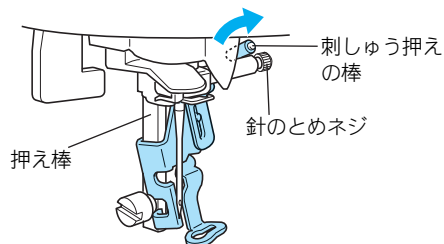
▶ 押えが上がります。

### 4 図のように、右手で刺しゅう押え〈Q〉を持ちます。

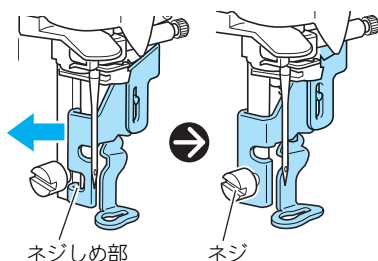
右手の人差し指が押えの後ろ側のレバーにかかるように持ちます。



- 5** 刺しゅう押え〈Q〉のレバーを指で押し  
ながら、刺しゅう押え〈Q〉の棒が針の  
とめネジの上にかかるように、刺しゅう  
押え〈Q〉を奥へ倒して押え棒に合わせ  
ます。

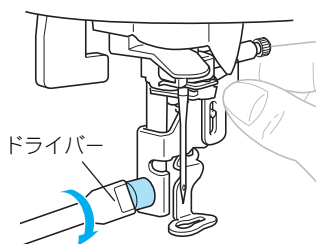


- 6** 刺しゅう押え〈Q〉が垂直になるように、  
刺しゅう押え〈Q〉を押えホルダーのネ  
ジに取り付けます。



- 7** 押えホルダーのネジをしめます。

右手で刺しゅう押え〈Q〉を支え、左手でドライ  
バーを手前に回します。



## ! 注意



- 刺しゅう押え〈Q〉を取り付けるときは、指や押えが針に当たらないようにしてください。針が折れたり、けがの原因となります。
- ネジは付属のドライバーで確実にしめてください。ネジのしめ方がゆるいと、針が押えに当たり、折れたり曲がったりするおそれがあります。
- 必ず、ぬい始める前にプーリーをゆっくりと手前に回し、針が押えに当たらないことを確認してください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

## 困ったとき

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目および当社サポートページ、ブラザーソリューションセンター（<http://support.brother.co.jp/>）のQ&Aを確認してください。それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。

## こんなときには

### ■ 刺しゅうをする前の準備

| こんなとき                  | 原因                      | 対処                                        | 参照ページ |
|------------------------|-------------------------|-------------------------------------------|-------|
| 下糸がボビンにきれいに巻けない        | 下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていない。   | 下糸巻き案内に糸をしっかりとかける。                        | P. 32 |
|                        | 引き出した糸を正しく巻き付けていない。     | 引き出した糸は、時計回りに 5 ～ 6 回ボビンに巻き付けます。          | P. 33 |
| 下糸巻き中、ボビン受け座の下に下糸が巻かれた | 下糸の巻き方がまちがっている。         | 受け座の下に巻かれた糸をほどいた後、下糸を正しく巻きます。             | P. 34 |
| 針穴に糸が通らない              | 針が正しい位置にない。             | 針上下スイッチで針を上げます。                           | P. 38 |
|                        | 針が正しく取り付けられていない。        | 針を正しく取り付けます。                              | P. 29 |
| 糸通しレバーが下まで降りない         | 針が正しい位置にない。             | 針上下スイッチで針を上げます。                           | P. 38 |
| ライトが点灯しない              | ライトが故障した。               | お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン 119 番）」にご相談ください。 | -     |
|                        | 電源が入っていない。              | 電源を入れます。                                  | P. 20 |
| 液晶画面に何も表示されない          | 液晶画面の明るさが明るすぎる、または暗すぎる。 | 液晶画面の明るさを調整します。                           | P. 89 |
| スイッチを押しても動かない          | 液晶画面にアニメーションが表示されている。   | 液晶画面に指で触れてアニメーションを消去します。                  | P. 24 |
| 刺しゅうキーを押しても動かない        | 刺しゅう機が取り付けられていない。       | 刺しゅう機を取り付けます。                             | P. 21 |

# ■ 刺しゅうしているとき

| こんなとき    | 原因                           | 対処                                                      | 参照ページ |
|----------|------------------------------|---------------------------------------------------------|-------|
| ミシンが動かない | 電源が入っていない。                   | 電源を入れます。                                                | P. 20 |
|          | スタート/ストップスイッチを押していない。        | スタート/ストップスイッチを押します。                                     | P. 33 |
|          | 押えレバーが上がっている。                | 押えレバーを下げます。                                             | P. 30 |
|          | 刺しゅう機が取り付けられていない。            | 刺しゅう機を取り付けます。                                           | P. 21 |
|          | 下糸巻きを行った後、下糸巻き軸が右側のままになっている。 | 下糸巻き軸を左側に戻します。                                          | P. 34 |
| 針が折れる    | 針が正しく取り付けられていない。             | 針を正しく取り付けます。                                            | P. 29 |
|          | 針のとめネジがゆるんでいる。               | ドライバーでとめネジをしっかりとめます。                                    | P. 30 |
|          | 針が曲がっている。針先がつぶれている。          | 新しい針に交換します。                                             | P. 29 |
|          | 上糸調子が強すぎる。                   | 上糸調子を弱くします。                                             | P. 66 |
|          | 糸こまや糸こま押えが正しく取り付けられていない。     | 糸こまと糸こま押えを正しく取り付けます。                                    | P. 32 |
|          | 押えの穴の周辺にキズがある。               | 押えを交換します。<br>お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。  | -     |
|          | 内かまにキズがある。                   | 内かまを交換します。<br>お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。 | -     |
|          | 本製品純正のポピンを使用していない。           | 本製品純正のポピンを使用してください。                                     | P. 36 |
| 上糸が切れる   | 上糸のセットがまちがっている。              | 上糸を正しくセットします。                                           | P. 38 |
|          | 糸こまが正しくセットされていない。            | 糸こまを正しく取り付けます。                                          | P. 32 |
|          | 糸こま押えの大きさが合っていない。            | 糸こまの大きさに合った糸こま押えを使用します。                                 | P. 32 |
|          | 針棒糸かけから糸が外れている。              | 針棒糸かけに糸を正しく掛けます。                                        | P. 40 |
|          | 糸に結び目やこぶがある。                 | その部分を取り除きます。                                            | -     |
|          | 上糸調子が強すぎる。                   | 上糸調子を弱くします。                                             | P. 66 |
|          | 糸がからまって、かまなどに詰まっている。         | からんだ糸を取り除きます。かまに詰まっていた場合は、掃除します。                        | P. 78 |

| こんなとき                            | 原因                    | 対処                                                      | 参照ページ |
|----------------------------------|-----------------------|---------------------------------------------------------|-------|
| 上糸が切れる                           | 針が曲がっている。針先がつぶれている。   | 新しい針に交換します。                                             | P. 29 |
|                                  | 針が正しく取り付けられていない。      | 針を正しく取り付けます。                                            |       |
|                                  | 押えの穴の周辺にキズがある。        | 押えを交換します。<br>お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。  | -     |
|                                  | 内かまにキズがある。            | 内かまを交換します。<br>お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。 | -     |
|                                  | 本製品純正のボビンを使用していない。    | 本製品純正のボビンを使用してください。                                     | P. 36 |
| 下糸がからまる<br>下糸が切れる                | 下糸のセットがまちがっている。       | 下糸を正しくセットします。                                           | P. 36 |
|                                  | ボビンにキズがあり、回転がなめらかでない。 | ボビンを交換します。                                              | -     |
|                                  | 糸がからまっている。            | からんだ糸を取り除き、かまを掃除します。                                    | P. 78 |
|                                  | 本製品純正のボビンを使用していない。    | 本製品純正のボビンを使用してください。                                     | P. 36 |
| ぬい目がとぶ                           | 上糸のセットがまちがっている。       | 上糸を正しくセットします。                                           | P. 38 |
|                                  | 針が曲がっている。針先がつぶれている。   | 新しい針に交換します。                                             | P. 29 |
|                                  | 針の取り付け方がまちがっている。      | 針を正しく取り付けます。                                            | P. 29 |
|                                  | 針板の下やかまにほこりなどがたまっている。 | 針板カバーを取り外してかまを掃除します。                                    | P. 78 |
| 刺しゅうしている<br>ときの音が高い<br>ガタガタと音がする | かまにほこりがたまっている。        | かまを掃除します。                                               | P. 78 |
|                                  | 上糸のセットがまちがっている。       | 上糸を正しくセットします。                                           | P. 38 |
|                                  | 内かまにキズがある。            | 内かまを交換します。<br>お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン 119 番)」にご相談ください。 | -     |
|                                  | 本製品純正のボビンを使用していない。    | 本製品純正のボビンを使用してください。                                     | P. 36 |
| 刺しゅう機が動かない                       | 模様を選択していない。           | 模様を選択します。                                               | P. 50 |
|                                  | 刺しゅう機が正しくセットされていない。   | 刺しゅう機を正しくセットします。                                        | P. 21 |

## ■ 仕上がり

| こんなとき        | 原因                                           | 対処                                                                 | 参照ページ          |
|--------------|----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|----------------|
| 布裏で糸がからまる    | 上糸のセットがまちがっている。                              | 上糸を正しくセットします。                                                      | P. 38          |
| 糸調子が合わない     | 上糸のセットがまちがっている。                              | 上糸を正しくセットします。<br>糸案内カバー左にあるパネに糸が正しくかかっていることを確認します。                 | P. 38<br>P. 40 |
|              | 下糸のセットがまちがっている。                              | 下糸を正しくセットします。                                                      | P. 36          |
|              | 糸調子が合っていない。                                  | 糸調子を調節します。                                                         | P. 66          |
|              | 本製品純正のポピンを使用していない。                           | 本製品純正のポピンを使用してください。                                                | P. 36          |
| 上糸がつる        | 下糸のセットがまちがっている。                              | 下糸を正しくセットします。                                                      | P. 36          |
| きれいに刺しゅうできない | 刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない。布地の張り方がゆるい。             | 刺しゅう枠に布地を正しく張ります。                                                  | P. 44          |
|              | 接着芯を貼っていない。                                  | 刺しゅう用接着芯を貼ります。                                                     | P. 43          |
|              | 糸がからまって、かまなどに詰まっている。                         | からんだ糸を取り除きます。かまに詰まっていた場合は、掃除します。                                   | P. 78          |
|              | 糸調子が合っていない。                                  | 糸調子を調節します。                                                         | P. 66          |
|              | 上糸のセットがまちがっている。                              | 上糸を正しくセットします。<br>糸案内カバー左にあるパネに糸が正しくかかっていることを確認します。                 | P. 38<br>P. 40 |
|              | 下糸のセットがまちがっている。                              | 下糸を正しくセットします。                                                      | P. 36          |
|              | キャリッジや刺しゅう枠の周辺にものが置いてある。                     | 刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠がものにぶつかると、模様がくずれます。刺しゅう枠が動く範囲には、ものを置かないようにしてください。 | P. 22          |
|              | 刺しゅう枠からはみ出した布地が、じゃまになっている。                   | 刺しゅう枠からはみ出した布地がじゃまにならないように布地を張り替え、模様を回転させて刺しゅうをします。                | -              |
|              | 重たい衣類に刺しゅうしていて、テーブルから布地が垂れ下がっている。            | 布地がテーブルから垂れ下がった状態で刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが悪くなります。布地が垂れ下がらないようにしてください。    | -              |
|              | 布地がひっかかっている。はさみ込まれている。                       | ミシンをストップさせて、布地を正しい状態にします。                                          | -              |
|              | 刺しゅうの途中で、刺しゅう枠を取り外したり取り付けたりしたときに、キャリッジを動かした。 | 途中でキャリッジを動かすと、模様くずれの原因となります。刺しゅう枠を取り外したり取り付けたりするときは、注意してください。      | -              |

## 液晶画面のメッセージ表示

誤った操作をしたときのメッセージや操作のアドバイスが、液晶画面に表示されます。表示された内容に従ってください。

以下に記載のないメッセージが表示された場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン 119 番）」までお問い合わせください。

| 表示                                            | 原因                                                                                                                                                     |
|-----------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>▲ 説明書の「エラーメッセージ」をみてください。</b><br><b>閉じる</b> | 上糸がかまにからんだ、針が曲がって針板に当たったなどでミシンが停止した。（→ P.82）                                                                                                           |
| <b>① 上糸が切れていないか確かめてください。</b><br><b>閉じる</b>    | 上糸が切れた。<br>上糸が正しくセットされていない。<br>上糸がなくなった。                                                                                                               |
| <b>① 押えレバーを上げてください。</b>                       | 押えが下がった状態で、刺しゅう機の初期設定を行おうとした。                                                                                                                          |
| <b>① 押えレバーを下げてください。</b><br><b>閉じる</b>         | 押えが上がった状態で、スタート/ストップスイッチ・糸切りスイッチのいずれかを押した。                                                                                                             |
| 記憶中                                           | 模様の記憶中。                                                                                                                                                |
| <b>① このカードは使用できません。</b><br><b>閉じる</b>         | 本製品で使用できない刺しゅうカードをセットして、カードの模様を選択しようとした。<br>別売の刺しゅう PRO を使用してオリジナルカードに模様を書き込む際、本製品に適さない刺しゅう枠サイズを選択し、そのカードの模様を選択しようとした。<br>セットしたオリジナルカードに模様が保存されていなかった。 |
| <b>① この模様は使えません。</b><br><b>閉じる</b>            | このミシンで使用できない模様を選択しようとした。                                                                                                                               |
| <b>① 刺しゅうカードを入れてください。</b><br><b>閉じる</b>       | 刺しゅうカードがセットされていないときに、液晶画面の  を押した。                                 |



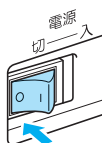
| 表示                                   | 原因                                             |
|--------------------------------------|------------------------------------------------|
| <p>▲ 刺しゅうキャリッジが動きます。注意してください。OK</p>  | <p>刺しゅう機を取り付けた。</p>                            |
| <p>① 下糸が少なくなりました。下糸を巻いて閉じる ください。</p> | <p>下糸がなくなった。<br/>下糸が残り少なくなった。</p>              |
| <p>① 下糸巻き軸を左に戻してください。閉じる</p>         | <p>下糸巻き軸を右にした状態で、針上下スイッチ・糸切りスイッチのいずれかを押した。</p> |
| <p>下糸巻き中</p>                         | <p>下糸巻き装置で下糸巻き動作中。</p>                         |
| <p>① 針が下の時にはこのスイッチは使えませんか。閉じる</p>    | <p>針が下がった状態で、刺しゅう模様の選択やレイアウトの変更をしようとした。</p>    |
| <p>① 針上下スイッチで針を上を上げてください。</p>        | <p>針が下がっているときに、ミシンが動く動作をしようとした。</p>            |
| <p>① 模様が消えます。よろしいですか？ キャンセル OK</p>   | <p>模様を選択した状態で、戻るキーまたは刺しゅうキーを押した。</p>           |
| <p>① 模様を選んでください。閉じる</p>              | <p>模様を選択していない状態で、スタート/ストップスイッチを押した。</p>        |
| <p>① 模様が枠からはみだします。閉じる</p>            | <p>刺しゅう枠に入りきらない文字数を設定しようとした。</p>               |

| 表示                                                 | 原因                                                                                                                                                    |
|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① 容量がたりません。模様を消してください。</p> <p>キャンセル      削除</p> | <p>記憶エリアがいっぱいのときに、さらに記憶させようとした。</p>                                                                                                                   |
| <p>① 模様を呼び出してください。</p> <p>閉じる</p>                  | <p>ミシンに記憶した模様または USB ポートから入力した刺しゅう模様を選択した後、呼び出しキーを押さずにスタート/ストップスイッチを押した。</p>                                                                          |
| <p>① 模様を減らしてください。</p> <p>閉じる</p>                   | <p>USB フラッシュメモリー (USB フラッシュドライブ) に 201 個以上の模様データ (フォルダも含む) が入っているときに、模様を呼び出そうとした。</p> <p>または、保存データが 200 個以内であっても、色数の多い模様データが入っているときに、模様を呼び出そうとした。</p> |
| <p>① USB メディアを入れてください。</p> <p>閉じる</p>              | <p>USB フラッシュメモリーを接続せずに、模様を呼び出した。</p> <p>対応機種ではない USB フラッシュメモリーを使おうとした。</p>                                                                            |
| <p>① USB メディアを読み込んでいる最中に交換しないでください。</p> <p>閉じる</p> | <p>USB フラッシュメモリーを読み込んでいる状態で、USB フラッシュメモリーを抜き、再び挿して模様を選択しようとした。</p>                                                                                    |
| F1 ~ F7                                            | <p>ミシンが故障していることが考えられますので、お買い上げの販売店またはお客様相談室までお問い合わせください。</p>                                                                                          |

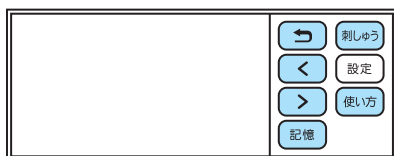
## 液晶画面に何も表示されないとき

電源を入れても液晶画面に何も表示されないときは、液晶画面の明るさが明るすぎる、または暗すぎるからです。その場合は、次の操作をしてください。

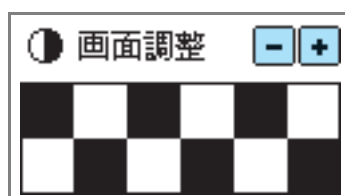
### 1 電源を切ります。



### 2 操作パネルの **設定** (設定キー) 以外のキーを押しながら、電源を入れます。



### 3 **-** **+** を押して、画面の明るさを調整します。



### 4 もう一度電源を切って、電源を入れ直します。

## 電子音

キーを操作しているときや、誤った操作をしたときなどに、電子音が鳴ります。

### ■ 正しい操作をしたとき

「ピッ」と鳴ります。

### ■ 誤った操作をしたとき

「ピッピッ」または「ピッピッピッピッ」と鳴ります。

### ■ 糸がからむなど、ミシンがロックしたとき

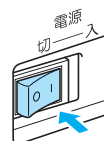
「ピッピッピッ・・・」と4秒間鳴り続け、ミシンは自動的に止まります。OK ボタンを押すと、操作可能な状態に戻ります。

必ず原因を確認して改善してから、再開してください。

### ■ 電子音を消したいとき

購入時は、操作パネルのキーを操作すると音が鳴るように設定されています。この音を鳴らないように変更できます。

### 1 電源を入れます。



▶ 液晶画面が点灯します。

### 2 操作パネルの **設定** (設定キー) を押します。



### 3 ブザーの OFF を押します。



### 4 **戻る** (戻るキー) を押します。



▶ もとの画面に戻ります。

## USB フラッシュメモリーを使っのアップグレードの方法

USB フラッシュメモリーとパソコンを使用して、ミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。アップグレード情報がブラザーソリューションセンター（<http://support.brother.co.jp/>）に掲載されましたら、ウェブサイトに記載の手順と下記内容に従ってダウンロードしてください。



### お願い

- USB フラッシュメモリーを使ってソフトウェアをアップグレードするときは、USB フラッシュメモリー内にアップグレードファイルだけを保存してください。それ以外のデータが含まれていると、正しくアップグレードすることができません。
- USB フラッシュメモリーはどの容量のものでも使用できます。



### お知らせ

- アップグレードを行うと、記憶した文字の組み合わせ模様データが消去されます。なお、記憶した刺しゅう模様データは消去されません。

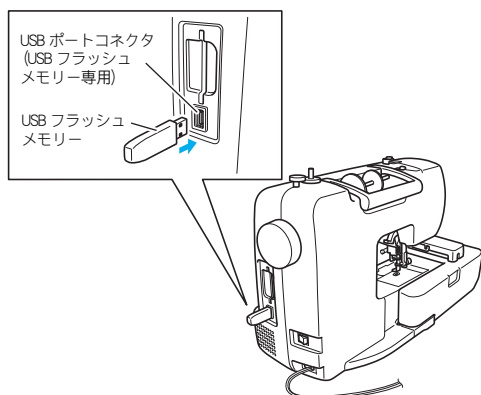
## 1 操作パネルの **設定**（設定キー）を押しながら、電源を入れます。

- ▶ 次の画面が表示されます。

アップグレードファイルが保存されたUSBメディアを接続してください。

**取り込み**

## 2 ミシンの USB ポートコネクタに USB フラッシュメモリーを差し込みます。アップグレードファイルのみ保存されている USB フラッシュメモリーを使用してください。



### お知らせ

- アクセスインディケーター付 USB フラッシュメモリーを使用する場合は、パソコンやミシンに USB フラッシュメモリーを挿入したときに、アクセスインディケーターが点滅し始め、USB フラッシュメモリーが認識されるまで約 5～6 秒かかることがあります。（USB フラッシュメモリーの種類によって、認識されるまでの時間が異なります。）

## 3 **取り込み** を押します。

- ▶ 次の画面が表示されます。

ファイルを  
書き込んでいます。  
電源を切らないで  
ください。



### お願い

- エラーが発生すると、エラーメッセージが表示されます。その場合は、電源を切り、もう一度 1 からやり直してください。

## 4 次の画面が表示されたら、アップグレードは完了です。

アップグレードが  
完了しました。

## 5 USB フラッシュメモリーを取り外し、ミシンの電源を入れ直します。

## 本体仕様

| 項目        |        | 仕様                                                                       |
|-----------|--------|--------------------------------------------------------------------------|
| 本体寸法      |        | 幅 550mm × 高さ 278mm × 奥行 215mm (刺しゅう機付)                                   |
| 本体質量      |        | 本体 : 5.8kg 刺しゅう機 : 1.4kg                                                 |
| 液晶画面      |        | バックライト拡散式                                                                |
| 操作パネル     |        | タッチパネル                                                                   |
| 使用ミシン針    |        | 家庭用ミシン針 HA × 1                                                           |
| ライト       |        | 白色発光ダイオード                                                                |
| 定格電圧／消費電力 |        | 100V / 31W 50 / 60Hz                                                     |
| 刺しゅう      | 刺しゅう範囲 | 100mm × 100mm                                                            |
|           | 刺しゅう速度 | 毎分最大 400 針                                                               |
|           | 最小ピッチ  | 0.1mm                                                                    |
|           | 搭載模様   | ワンポイント模様 : 56 模様<br>枠模様 : 10 種、12 ステッチ<br>アルファベット : 5 書体<br>かな・カナ : 3 書体 |
|           | 記憶     | 12 組                                                                     |

# さくいん

## U

|                               |                |
|-------------------------------|----------------|
| USB フラッシュメモリー (USB フラッシュドライブ) | 13, 71, 73, 90 |
| USB ポートコネクタ                   | 13, 73, 90     |

## あ

|               |    |
|---------------|----|
| アップグレード       | 90 |
| アプリケ          | 62 |
| アルファベット       | 50 |
| 安全にお使いいただくために | 1  |

## い

|         |           |
|---------|-----------|
| 糸案内皿    | 13        |
| 糸案内カバー  | 12        |
| 糸色      | 60        |
| 糸切り     | 12        |
| 糸切りスイッチ | 14        |
| 糸こま押え   | 9, 31, 39 |
| 糸こまネット  | 9, 39     |
| 糸たて棒    | 12        |
| 糸調子     | 66        |
| 糸調子ダイヤル | 12, 66    |
| 糸通しレバー  | 12, 41    |
| 色替      | 52        |

## う

|        |    |
|--------|----|
| ウルトラボス | 11 |
| 上糸案内   | 12 |
| 上糸を通す  | 38 |

## え

|          |        |
|----------|--------|
| 液晶画面     | 12, 15 |
| 液晶画面の操作  | 24, 51 |
| エラーメッセージ | 86     |

## お

|          |    |
|----------|----|
| オープニング画面 | 25 |
| 押えの交換    | 80 |
| お手入れ     | 78 |

## か

|           |        |
|-----------|--------|
| 回転キー      | 64     |
| 確認        | 52     |
| カタカナ      | 50     |
| カッター      | 33, 37 |
| かま        | 79     |
| 換気口       | 13     |
| ガイドミゾ     | 33     |
| 画面調整      | 25     |
| 画面の明るさ    | 25, 89 |
| かんたん操作ガイド | 10     |

## き

|       |    |
|-------|----|
| 記憶    | 71 |
| 記憶キー  | 15 |
| キャリッジ | 21 |

## こ

|       |    |
|-------|----|
| コンセント | 20 |
|-------|----|

## さ

|       |    |
|-------|----|
| サイズキー | 64 |
|-------|----|

## し

|              |        |
|--------------|--------|
| 刺しゅう         | 28     |
| 刺しゅう糸        | 28     |
| 刺しゅう押え       | 10, 80 |
| 刺しゅうカード      | 11, 57 |
| 刺しゅうカード差し込み口 | 13     |
| 刺しゅう機        | 21     |
| 刺しゅうキー       | 15     |
| 刺しゅう機差し込み口   | 12, 22 |
| 刺しゅうシート      | 10, 44 |
| 刺しゅうの記憶      | 71     |
| 刺しゅうの中断      | 69     |
| 刺しゅう範囲       | 65     |
| 刺しゅう模様       | 50     |
| 刺しゅう用水溶性シート  | 11     |
| 刺しゅう用接着芯     | 11, 28 |
| 刺しゅう枠        | 44, 47 |
| 下糸           | 31     |
| 下糸のセット       | 36     |
| 下糸巻き案内       | 12     |
| 下糸巻き軸        | 34     |
| 下糸巻き装置       | 12     |
| 自動糸切り        | 52     |
| 次ページキー       | 15     |

## す

|               |    |
|---------------|----|
| スタート/ストップスイッチ | 14 |
|---------------|----|

## せ

|          |    |
|----------|----|
| 接着芯      | 43 |
| 設定キー     | 15 |
| 設定の確認・変更 | 25 |
| 前面       | 12 |

## そ

|        |        |
|--------|--------|
| 操作音    | 89     |
| 操作スイッチ | 14     |
| 操作早見表  | 10     |
| 操作パネル  | 12, 15 |
| 掃除     | 78     |

|          |    |
|----------|----|
| 側面 ..... | 13 |
|----------|----|

## た

|             |    |
|-------------|----|
| タッチペン ..... | 10 |
|-------------|----|

## ち

|           |    |
|-----------|----|
| 著作権 ..... | 50 |
|-----------|----|

## つ

|             |    |
|-------------|----|
| 使い方 .....   | 27 |
| 使い方キー ..... | 15 |

## て

|                |        |
|----------------|--------|
| 手で針に糸を通す ..... | 42     |
| てんびん .....     | 12     |
| 電源 .....       | 20     |
| 電源コード .....    | 9, 20  |
| 電源コンセント .....  | 20     |
| 電源ジャック .....   | 13     |
| 電源スイッチ .....   | 13, 20 |
| 電子音 .....      | 89     |

## と

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 特長 .....           | 8     |
| 途中で糸がなくなったとき ..... | 69    |
| とめネジ .....         | 30    |
| トラブル .....         | 82    |
| 取り外しレバー .....      | 23    |
| ドライバー .....        | 9, 30 |

## は

|                      |        |
|----------------------|--------|
| 背面 .....             | 13     |
| はさみ .....            | 9      |
| 針板 .....             | 13     |
| 針板カバー .....          | 13     |
| 針板ふた .....           | 13     |
| 張りが強い糸 .....         | 39     |
| 針上下スイッチ .....        | 14     |
| 針数 .....             | 51, 69 |
| 針の交換 .....           | 29     |
| 針棒糸かけ .....          | 13, 40 |
| 反転 .....             | 65     |
| ハンドル .....           | 13     |
| パソコンからの模様の呼び出し ..... | 73     |

## ひ

|            |    |
|------------|----|
| 表示言語 ..... | 24 |
| ひらがな ..... | 50 |

## ふ

|                |    |
|----------------|----|
| 付属品 .....      | 9  |
| フーリー .....     | 13 |
| プロダクト NO. .... | 25 |

## ほ

|              |        |
|--------------|--------|
| ボビン .....    | 10, 31 |
| ボビン受け座 ..... | 34     |

## ま

|              |    |
|--------------|----|
| 前ページキー ..... | 15 |
|--------------|----|

## み

|                 |        |
|-----------------|--------|
| ミシンの使い方 .....   | 27     |
| ミシン 119 番 ..... | 82, 86 |
| ミシンブラシ .....    | 9      |

## め

|               |    |
|---------------|----|
| メッセージ表示 ..... | 86 |
|---------------|----|

## も

|               |    |
|---------------|----|
| 文字模様の選択 ..... | 53 |
| 戻るキー .....    | 15 |
| 模様の位置 .....   | 64 |
| 模様の記憶 .....   | 75 |
| 模様の呼び出し ..... | 76 |

## よ

|            |        |
|------------|--------|
| 呼び出し ..... | 73, 76 |
|------------|--------|

## り

|            |   |
|------------|---|
| リッパー ..... | 9 |
|------------|---|

## れ

|                |    |
|----------------|----|
| レイアウトの調整 ..... | 64 |
|----------------|----|

## わ

|                |    |
|----------------|----|
| 枠模様 .....      | 56 |
| ワンポイント模様 ..... | 55 |

## アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」にお問い合わせください。

### ■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「お客様相談室（ミシン119番）」にご相談ください。

### ■ お客様相談室（ミシン119番） 050-3786-1134

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または「お客様相談室（ミシン119番）」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

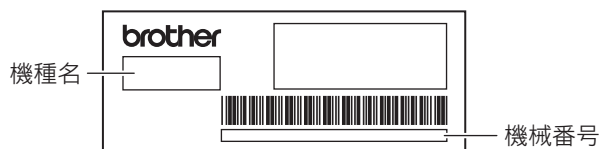
お客様相談室（ミシン119番） Tel：050-3786-1134

Fax：052-824-3031

受付時間：月曜日～金曜日 9：00～17：30

休業日：土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- お客様相談室（ミシン119番）は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。ミシン背面の定格ハリマーク（銀色シール）の下記部分をご確認ください。



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「お客様相談室（ミシン119番）」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

### ■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。

<http://www.brother.co.jp/>

ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。

<http://support.brother.co.jp/>

**ブラザー工業株式会社**

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

PEV57  
Printed in China



XG1897-101①